

2 0 2 4 年 度
事 業 報 告

育 秀 会

2024年度（令和6年度） 育秀会事業報告

1. 育秀会の基本精神・理念

社会福祉法人育秀会は、昭和27年（1952年）に認可を受けて乳児院を創設し、昭和から平成、令和にかけ「for others」を基本精神に、「安心・安全で快適な暮らし作り」を理念に社会福祉事業を運営しています。

2. 育秀会の運営報告

令和6年度は介護報酬改定があり、今回の改定は1.59%プラス改定でしたが、物価高騰の影響で事業運営は変わらず厳しい状況でした。改定にあたっての主な視点としては介護現場の生産性向上の推進や、医療と介護の連携が求められていましたが、施設整備でもICT機器の運用を行い、新しい機器や更新機器を計画的に導入していきました。

今年度も感染防止に配慮していましたが、COVID-19やインフルエンザ感染症が発生し、特養受け入れやショートステイ事業を休止した為、施設運営に影響がありました。令和6年度からは面会や行事なども再開し、地域との交流や町会との防災訓練や地域サロンも開催しました。

近隣の社会福祉法人と共同で地域福祉活動に取り組んでいる「ねりま社会福祉法人等のネット」に参加し、「就労体験」の引き受けや福祉教育、地区祭の参加を行いました。

3. 本部事業

（1）理事会・評議員会の開催

①理事会 3回（書面1回）開催し、重要事項について審議しました。

第1回理事会 令和6年5月25日

理事6名、監事2名

- | | |
|-------|------------------------|
| 第1号議案 | 2023年度事業報告（案）について |
| 第2号議案 | 2023年度決算報告（案）について |
| 第3号議案 | 評議員選任・解任委員会 委員選任について |
| 第4号議案 | 職員紹介採用（リファラル規程）（案）について |
| 第5号議案 | 規程の一部改正（案）について |
| 第6号議案 | 定時評議員会招集通知（案）について |
| 報告事項 | 理事長及び常務理事の職務執行状況報告 |

第2回理事会 令和6年9月14日（書面）

理事 同意書6名 監事 確認書2名

第1号議案 第3育秀苑施設長の任免について

第3回理事会 令和7年3月22日

理事 5名、 監事2名

第1号議案 2024年度補正予算（案）について

第2号議案 2025年度事業計画（案）について

第3号議案 2025年度当初予算（案）について

第4号議案 規程の一部改正（案）について

第5号議案 役員賠償責任保険加入について

報告事項 理事長及び常務理事の職務執行状況報告

②評議員会 1回開催し、重要事項について審議し、すべて可決承認された。

定時評議員会 令和6年6月15日 評議員 4名

第1号議案 2023年度事業報告（案）について

第2号議案 2023年度決算報告（案）について

（2）監事監査

赤羽秀樹監事及び平林ちよ子監事による監査を令和7年5月12日に行い、令和6年度の事業報告及び決算報告の内容を吟味し内容の正しい事を確認しました。

(3) 借入金の償還（令和6年度分）

第3育秀苑建設資金

償還額（令和15年度償還完了予定）

福祉医療機構借入	元金	9,948,000 円
	利子	909,615 円
	合計	10,857,615 円

償還財源

練馬区補助金	元金	5,000,000 円
都利子補給	利子	891,170 円
自己資金		4,966,445 円
	合計	10,857,615 円

4. 令和6年度の重点課題

- (1) 育秀会ブランドの確立
- (2) サービス向上に対する取り組み
- (3) 未来志向の経営への取り組み
- (4) 働きやすい職場づくり
- (5) 地域貢献への取り組み

各施設とも今年度の重点課題に取り組みました。

2024 年度 育秀会レベル別研修・キャリアアップ研修報告

1 レベル別研修

研修名	参加人数			
	育秀苑	第2 育秀苑	第3 育秀苑	合計人数
レベル1 (3回/年)	1名	0名	2名	3名
レベル2 (3回/年)	3名	1名	2名	6名
レベル3① (1回/年)	4名	1名	3名	8名
レベル3② (1回/年)	2名	3名	2名	7名
レベル4 (1回/年)	2名	1名	3名	6名
レベル4 公開講座(1回/年)	6名	5名	8名	19名
	18名	11名	20名	49名

※レベル4 公開講座「アサーティブコミュニケーション」を実施。

2 新規採用入職者研修

2024年4月1日(月)～3日(水)

育秀苑	第2 育秀苑	第3 育秀苑	合計人数
3名	2名	4名	9名

3 公開講座

「虐待防止と身体的拘束の適正化」

2024年9月5日(月) 集合研修 参加者 26名

(育：7名、第2：9名、第3：10名)

4 検討・研究発表会

・レベル1 事例検討発表会	2025年2月7日(金)	発表1席
・レベル2 事例研究発表会	2025年1月20日(月)	発表5席
・法人内研究発表会	2025年2月18日(金)	発表8席

5 昇任前研修

2025年3月10日(月)

	育秀苑	第2 育秀苑	第3 育秀苑	合計人数
係長	0名	0名	0名	0名
主任	1名	0名	2名	3名

2 0 2 4 年 度
事 業 報 告

育 秀 苑

2024年度 育秀苑事業報告

2024年度は医療・障がい福祉・介護報酬のトリプル改定の年となりました。他の報酬改定と比較するとプラス改定ではありましたが、物価高騰や最低賃金の引上げ等を勘案すると、十分とは言い難い内容でした。その中でも新規加算を含め取得できるものは体制を整えた上で算定開始しました。

特別養護老人ホームの新規入所者は20名、退所者は19名となりました。前年度よりも入れ替わりが少なくなり、経営面では比較的安定した運営を維持出来ました。

感染症の影響は今年度も続きました。各種関係機関の指導の元、感染対策に努めましたが、残念ながらクラスター発生が2度ありました。幸いにして罹患された方々の予後は従前に比べると悪くありませんでしたが、ショートステイ事業を休止する等、経営面に大きな影響を与える結果となりました。

育秀苑は開設37年を迎えました。今年度は機械浴槽1台入替を行いました。その他、同様に更新が必要な機器、備品等の優先順位をつけながら、計画的に更新し、利用されている方々への影響が最小限になるよう努めました。

2023年度より開催している、地域サロン「桜いちばん星」は今年度年間9回開催と増回しました。地域の皆様の福祉ニーズを把握しながら、それに応えるべく企画、実行しました。今後も地域福祉の拠点としてあり続けられるよう継続開催していきます。

育秀苑指定居宅介護支援事業所は、令和7年1月に練馬区の運営指導を受けました。日頃の取組みが評価され、指摘事項はありませんでした。一方で新規利用者を終了者が上回ってしまい、目標到達に至らなかった為、翌年度以降安定的な稼働が維持出来る様、体制構築を図ります。

桜台地域包括支援センターは、新たに配置された生活支援コーディネーターも地域の方々に認知して頂き、相談件数も多く推移しました。「街かどケアカフェさくら」の利用者も定着から拡大しています。引き続き地域の拠り所となる様、体制を整えています。

1. 職員配置状況

2024年3月31日現在で常勤職員39名、非常勤職員30名、計69名体制で職員を配置しました。【表1-①】

2. 職員採用

2023年度の採用は【表1-②】の通りです。

1) 正規職員については、新規採用4名、他施設からの異動3名、退職者0名、他施設への異動4名でした。

2) 非正規職員については、新規採用3名、退職者8名でした。

3. 職員研修

法定で定められているものを主体に施設内研修を書面や動画視聴、集合研修を併用して実施しました。法人で行うレベル別研修も行い、専門職としての知識及び資質向上に努めました。外部研修も集合型研修、オンライン研修を選んで参加しました。又、区内の他法人との連携研修にも参加、新たな発見や行っていない活動等を参考に自施設のケア等の質向上に繋がりました。施設内外いずれも研修報告、伝達等により職員全体へフィードバックし、知識や技術の底上げを図りました。【表2-①、②】

4. 防災管理

総合防災訓練は、昨年同様、町会の方にご参加いただき、通報、消火、避難と一連の訓練を行いました。また、東京都の助成金を活用し、以前から懸念事項として挙げられていた電源問題を解消するため、大容量の可搬型蓄電池を3台購入することができました。これにより、災害発生時にラジオ等での情報収集、スマートフォンの充電、吸引機の稼働等、様々な業務不安を取り除くことが可能となりました。

5. 施設整備

機械浴槽が老朽化し、通常使用にも耐えることが困難になってきたため、東京都の助成金である、次世代介護機器導入支援事業を活用し、機械浴槽の更新を行いました。新規に導入したものは、風呂内のお湯を毎回捨てずに、特殊なフィルターを通し再利用する循環型であり、ランニングコストも従前の物に比べ、大幅に削減できました。

【表1-①】

2024年度 職員配置及び移動状況

(1) 配置状況

特養 定員60名

ショート

定員5名

2025年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非常勤	
施 設 長	1	1		
医 師	1		2	内科、精神科
事 務 員		1	1	
介護支援専門員	1	5 (兼務5)		
生 活 相 談 員	1	2		
介 護 職 員	19	18 (介護福祉士17)	8 (介護福祉士4)	常勤換算22.6人
看 護 職 員	3	2	4	常勤換算4.3人
管 理 栄 養 士	1	1	1	
調 理 職 員				委託
機能訓練指導員	1		1	PT
クリーンスタッフ			5	
宿 直 員			5	
計	28	30 (兼務5)	27	

居宅介護支援事業所

2025年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非常勤	
管 理 者	1	1 (兼務1)		介護支援専門員兼務
介護支援専門員	3	4	2	
計	4	5 (兼務1)	2	

地域包括支援センターおよび生活支援員センター

2025年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非常勤	
主任介護支援専門員	1	2		
社 会 福 祉 士	1	1		
保 健 師 (看護師)	1	0		
生活支援コーディネーター	1	0		
介護支援専門員	2	2		
訪問支援員	2	2		
生活支援員	2	2		
ケアカフェさくら担当	1	1		
事務員			1	
計	11	10	1	
合 計	43	45 (内兼務6)	30	

【表1-②】

(2) 職員異動状況

常勤職員 採用

2025年3月31日現在

年 月 日	形 態	職 種	特 養	医務	居宅	包括	生活支援員	管理課	備 考
2023. 4. 1	採用	社会福祉士				1			
4. 1	採用	訪問支援員				1			
9. 1	採用	介護職員	1						
10. 1	採用	介護職員	1						

常勤職員 異動

年 月 日	形 態	職 種	特 養	医務	居宅	包括	生活支援員	管理課	備 考
2024. 4. 1	異動	介護職員	1						第2育秀苑へ
4. 1	異動	プランナー				1			第3育秀苑へ
4. 1	異動	介護支援専門員			1				第3育秀苑へ
4. 1	異動	プランナー				1			第3育秀苑より
9. 1	異動	介護職員	1						第3育秀苑より
10. 1	異動	介護職員	1						第2育秀苑より
2025. 2. 15	異動	介護職員	1						第3育秀苑へ

常勤職員 退職

年 月 日	退 職	職 種	特 養	医務	居宅	包括	生活支援員	管理課	備 考
-------	-----	-----	-----	----	----	----	-------	-----	-----

非常勤職員 採用

年 月 日	形 態	職 種	特 養	医務	居宅	包括	生活支援員	管理課	備 考
2024. 12. 1	採用	看護師		1					
2025. 1. 7	採用	プランナー				1			
2. 15	採用	介護職員	1						

非常勤職員 退職

年 月 日	形 態	職 種	特 養	医務	居宅	包括	生活支援員	管理課	備考
2024. 6. 30	退職	宿直						1	
9. 13	退職	介護職員	1						
10. 31	退職	宿直						1	
2025. 3. 9	退職	介護職員	1						
3. 14	退職	プランナー				1			
3. 17	退職	介護職員	1						
3. 31	退職	管理栄養士	1						
3. 31	退職	介護職員	1						

2024年度 職員研修

(外部研修参加一覧表) 【表2-①】

部署	研修会名	部署	研修名
施設長	令和6年度 東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会総会(第1回～第3回)	特養	令和6年度第1回東京都介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修
	「経営戦略セミナー(第一弾)/生産性向上推進体制加算(Ⅱ)」		介護サービス事業管理者高齢者権利擁護研修「高齢者虐待防止研修」(施設居住サービス系)
	2024年介護報酬改定について～介護報酬請求時における実務上のポイントとは～		令和6年度 介護施設における安全対策担当者養成研修
	「令和6年度生産性向上セミナー～よりよい介護現場のために業務改善でできること～」		排泄ケア講座 ～おむつの選び方・使い方から学ぶ～
	令和6年度 城西ブロック会		高齢者の摂食・嚥下について
	先進法人から学ぶ生産性向上への取り組み～独自の技術を取り入れた業務改善～		明日から実践!脆弱皮膚のスキンケア 2024～スキントアの予防とケア～
	施設ケアマネジメントの実践力アップ講座～尊厳を守り、個性を活かす～		令和6年度バーセルインデックス評価研修
	「令和6年度介護サービス事業者支援研修/介護サービス利用者の家族への対応とクレーム対応」		認知症ケアについて考える 明日から実践できる認知症ケア
	全国老人福祉施設大会・研究会議 in 滋賀	生活相談員	介護施設における法律実務研修
	介護報酬事務に関する研修会(実務者編)		介護報酬事務に関する研修会(実務者編)
管理課	外国人介護職員の受入れ事例の紹介&光が丘福祉専門学校における学生と事業所のマッチング事業について		2024年介護報酬改定について～介護請求時における実務上のポイント～
	カスタマーハラスメント対策 実務セミナー ～ハラスメントから職員を守るには～		2024年度施設ボランティアコーディネーター研修
医務	令和6年度 公正採用選考人権啓発推進員研修会		施設ケアマネジメントの実践力アップ講座～尊厳を守り、個性を活かす～
	施設管理者向けマネジメント研修「費用を考慮した指標の考え方とコスト意識の定着」		「令和6年度生産性向上セミナー～よりよい介護現場のために業務改善でできること～」
管理栄養士	令和6年度結核予防講習会 高齢者施設における結核対策		東京都介護支援専門員実務研修
	令和6年度「東京都感染対策リーダー養成研修事業」公開講座		第19回高齢者福祉実践・研究大会 アクティブ福祉 in 東京'24
	推しの給食!クックチル×再加熱カート活用セミナー		介護サービス事業管理者高齢者権利擁護研修「高齢者虐待防止研修」(居宅介護サービス系)
	令和6年度介護報酬改定対応「新設加算のとり方」研修会		令和6年度指定更新事業者研修
	令和6年度給食施設栄養技術講習会「高齢者の口腔機能と食事について」		第24回特別養護老人ホーム経営実態調査フォローアップ研修
	栄養士のための介護報酬改定と新しい栄養評価基準について		「経営戦略セミナー(第三弾)/高齢者施設等と医療機関の連携強化」
	給食施設栄養管理者講習会「トリプル改定の動向を知り実践につなぐ」		「令和6年度介護サービス事業者支援研修/介護サービス利用者の家族への対応とクレーム対応」
特養	高齢者の摂食・嚥下について		令和6年度バーセルインデックス評価研修
	職員の人材育成 ベーシック研修		科学的介護情報システム(LIFE)研修会
	令和6年度 接遇マナー公開勉強会		「介護事業におけるカスタマーハラスメント」

居宅介護	生活に困窮する人への支援～生活サポートセンターの取り組み～	居宅介護	相談援助の基礎を磨く！相談援助職に求められる相談面接の技法を身につけよう
	今井塾！養援護者による高齢者虐待の防止と対応		ヤングケアラーの理解と支援について
	野暮ったくないアドバンスケアプランニングを住民の方に提案しよう		おひとりさまを支えるアドバンスケアプランニングを考える
	～人権って誰のもの？「気づき」から考える、みんなにとって「大切なこと」～		透析看護
	スムーズな多職種連携の為の医療用語の理解とPREP法による伝え方		練馬区役所・中村橋・中村かしわ共催勉強会
	「困った？あなたならどうするパートⅢ～明日から親の介護が必要になったら？～		今なぜケアラー支援なのか～ケアラーの現状と必要な社会的支援～
	難病におけるピア相談員の意識を理解し、多職種連携に活かす～ピア相談員の立場から～	生活支援員	ケアマネジャー受験対策講座（全2回）
	高齢者虐待防止について～具体的な事例を通して考えてみませんか？～		訪問時の感染対策

（施設内研修）【表2-②】

	研修名		研修名
4月	身体的拘束適正化①	9月	高齢者虐待防止②
5月	事故発生防止・リスクマネジメント①	12月	BCP②
7月	感染予防対策①(食中毒等)	12月	認知症介護
7月	BCP①	12月	BCP②
7月	感染症予防対策②(尿路感染症)	3月	ハラスメント
7月	褥瘡予防対策	3月	看取り介護①
8月	感染対策シミュレーション①	3月	事故発生防止・リスクマネジメント②
8月	個人情報保護・権利擁護	3月	看取り介護②
9月	身体的拘束適正化②	3月	感染対策シミュレーション②

2024年度 防災訓練実施状況 【表3】

実施月	訓練内容
4月	BCP研修 緊急時対応・行動基準 自動開催報知設備の操作マニュアルを参照しながら説明。 災害発生時行動基準について確認。 参加者 6名
5月	緊急連絡網アプリについて 緊急連絡網アプリについて、仕様と登録方法を説明。 参加者 6名
6月	3施設合同無線機使用訓練 各施設合同で、無線機を使用した情報共有訓練を行った。 参加者 5名
7月	福祉避難所開設マニュアルについて（書面回覧） 福祉避難所開設マットレス、簡易間仕切り設営マニュアルについて書面回覧。
8月	消火器使用訓練について 消火器の種類、使用方法について訓練を行った。 参加者 9名
9月	BCP訓練 非常食保管場所、献立、炊き出し訓練 災害時の非常食関連、炊き出し訓練を行った。 参加者 8名
10月	総合防災訓練（予行練習） 総合防災訓練のシミュレーションを実施。 参加者 12名
11月	総合防災訓練（桜台二・三丁目町会と合同） 桜台二・三丁目町会と合同で防災訓練を実施。B1階での出火を想定。 参加者 12名、町会 1名
12月	BCP研修 BCP訓練動画視聴 BCPへの理解を深めるため、訓練動画の視聴を行った。 参加者 5名
1月	新型コロナウイルス感染症クラスター発生のため、開催なし
2月	夜間想定防災訓練 夜間に火災が発生したと想定し、通報、消火訓練を行った。 参加者 8名
3月	BCP訓練 緊急連絡網アプリ使用訓練、次年度防災計画について 緊急時連絡網アプリを使用し、スムーズに連絡が取れるよう、訓練を行った。 今年度の訓練のまとめと、2025年度の防災計画について検討を行った。 参加者 9名

2024年度

育秀苑介護老人福祉施設

短期入所生活介護事業 事業報告

2024年度の重点課題

1 育秀会ブランドの確立

- ① 育秀会の職員という自覚を持ち、基本精神、理念を念頭に置き職務に就きました。ミッションは「Have a try ～やってみよう～」とし、それぞれ目標達成に向け、チャレンジすることを意識しながら取り組むことができました。又、ケアの内容や業務内容の見直しを行い、利用者が安全に安心して過ごすことができるよう多職種で連携しながら業務を進めました。
- ② 3施設合同会議を行うことで情報の共有、業務水準の向上、サービスの標準化に取り組みました。会議以外でも、施設間でメール等を活用し連絡を密に取り合うことで、情報の共有・連携に努めました。
- ③ 広報誌、ホームページ、ブログを通じて、日々の生活の様子やイベントなどの様子を家族、地域の方々に発信をしました。地域のイベントでは地区祭への参加や中学校からの職場体験を受け入れる等、地域との関わりを持つことができました。

2 サービス向上に対する取り組み

- ① お客様アンケートを実施し、家族の満足度やご意見を頂くことができました。又、第三者評価を受審し、利用者の声を聴きくことができました。それらのご意見をサービスに反映しQOL向上に繋げました。
- ② 年2回の虐待の芽チェックリストを実施しました。結果をフィードバックすることで各部署の課題を把握することができ、サービス提供に還元しました。
- ③ 外部研修や施設内研修、法人レベル別研修を実施し、個々のスキルアップが図れるよう取り組みました。
- ④ 機器の老朽化も進んでいる為、各種機器、物品の整備点検を定期的の実施し、適宜購入・修繕を行いました。ICTや新たな次世代機器の導入について情報収集を行い、運営方法等を検討した上で選定を行いました。利用者のQOL向上、職員の生産性向上へ繋げる事ができるよう努めました。

3 経営への取り組み

- ① 特養稼働率は95.4%と目標達成に至りませんでした。年度当初に退所者、入院者が複数名おり上半期平均稼働率は94.6%と低迷してしまいました。8月、12月と新型コロナウイルス感染症によるクラスターが発生する事態となりました。

が、入院者はおらず稼働率へ大きな影響はありませんでした。

下半期は、状態悪化による入院の長期化や退所となるケースもあり下半期平均稼働率は96.3%でした。

実態調査を積極的に行い、事前に申込者家族やケアマネジャーへ入所申込者の状態を聞き取りすることで対象者を絞り込むことができ、計画的に入所へと繋げることができました。退所から入所までの期間を短縮できるよう努めましたが、同時期に退所者が重なり内定者の確保が間に合わず、入所までに時間がかかってしまいました。

ショートステイの稼働率は82.1%と目標達成に至りませんでした。上半期稼働率84.4%、下半期稼働率79.9%で、新型コロナウイルス感染症によるクラスターの影響が大きく、リピーターの減少もあり稼働率が伸び悩みました。

特養、ショートステイ共に課題はありますが、目標稼働率を意識しながら取り組んだこともあり、前年度と比較すると稼働率は少し上がりました。

- ② BCPに沿って、感染症や自然災害に備えた定期的訓練、施設内研修を行い職員全体へ周知しました。
- ③ 各種物品、消耗品などの在庫管理を行い、計画的に発注を行いました。また類似品などの情報収集や価格の比較を行い検討することで、コスト削減にも取り組みました。
- ④ 就職フェア等の採用イベントの参加や、実習生との関わりの中で新規採用に繋げる事ができました。また、BPR・生産性向上委員会を毎月開催し、ICT機器、見守り機器の活用方法、業務内容等の見直し検討を行いました。

4 働きやすい職場づくり

- ① ストレスチェックを実施しました。産業医へ相談し、早期に面談の場を設け職員の悩みや体調についての把握をしました。又、カスタマーハラスメントについて研修を行いました。相談窓口や対応方法について学び、トラブルがあった際は一人で抱え込まないよう周知しました。
- ② 産前・産後休暇、育児休暇、介護休暇の取得、短時間の就業等、一人一人のライフスタイルに合わせた体制づくりを継続しました。
- ③ 外部研修の情報提供を行い、自己研鑽できる環境を整えました。介護支援専門員研修や喀痰吸引研修など資格取得への支援を行いました。

5 地域貢献への取り組み

- ① 地域福祉サロン「桜いちばん星」を計9回開催しました。定期的で開催したことで、楽しみにされている地域住民の方もおり、多岐にわたる情報の発信をすることができました。
- ② 社会福祉士、介護福祉士、看護師の実習生を受け入れ、福祉医療人材の育成に取り組みました。
- ③ 練馬区内社会福祉法人与連携したオンライン研修を定期的で開催し、各法人の取り組みや職員の知識を深める機会を作りました。又、「ねりま社会福祉法人等

のネット」の事業にも継続参加しました。高齢者福祉以外のニーズ把握や情報共有を図り、地域の活動等にも積極的に参画しました。

- ④ 近隣町会と協同で防災訓練を行いました。福祉避難所としての役割を理解し、大規模災害への備えすることができました。

【表 1】

特養稼働表

2025年3月31日現在

	定員	利用日数	利用率
4月	1,800	1,651	91.7%
5月	1,860	1,690	90.9%
6月	1,800	1,737	96.5%
7月	1,860	1,807	97.2%
8月	1,860	1,807	97.2%
9月	1,800	1,696	94.2%
10月	1,860	1,819	97.8%
11月	1,800	1,790	99.4%
12月	1,860	1,784	95.9%
1月	1,860	1,783	95.9%
2月	1,740	1,585	94.3%
3月	1,860	1,752	94.2%
合計	21,960	20,901	平均 95.4%

(前年度平均 93.0%)

【表 2】

在籍状況及び理由別入退所状況

2025年3月31日現在

月	月初在籍者数	入 所					退 所							
		家庭	病院	老人保健施設	その他	計	死亡	長期入院	社会復帰	福祉施設	老人保健施設	家庭	その他	計
4月	58	1	0	1	0	2	3	1	0	0	0	0	0	4
5月	56	0	3	0	0	3	2	2	0	0	0	0	0	4
6月	55	0	1	3	1	5	1	0	0	0	0	0	0	1
7月	59	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
8月	59	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	59	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	2
10月	58	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	60	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
12月	59	0	0	2	0	2	2	1	0	0	0	0	0	3
1月	58	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
2月	57	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	58	0	0	0	3	3	2	0	0	0	0	0	0	2
計	696	4	4	7	5	20	12	7	0	0	0	0	0	19

○2023年度の死亡による退所は14名（前年度32名）、内12名は施設内で看取りました。

【表 3】

年齢・性別一覧

2025年3月31日現在

年齢	男	女	計
60歳以上65歳未満	0	0	0
65歳以上70歳未満	1	0	1
70歳以上75歳未満	0	1	1
75歳以上80歳未満	2	6	8
80歳以上85歳未満	1	10	11
85歳以上90歳未満	0	13	13
90歳以上95歳未満	4	14	18
95歳以上100歳未満	0	5	5
100歳以上	0	2	2
計	8	51	59
平均年齢	86.4	87.4	87.0
	(86.2)	(87.3)	(88.0)

() 内は前年度

○前年度と比べ男女とも平均年齢がやや上がっている。

○最高齢 102歳、最年少 67歳

【表 4】

要介護度構成

2025年3月31日現在

2024年3月31日現在		2025年3月31日現在	
要介護度 1	0	要介護度 1	0
要介護度 2	1	要介護度 2	1
要介護度 3	6	要介護度 3	4
要介護度 4	27	要介護度 4	31
要介護度 5	24	要介護度 5	23
計	58	計	59
平均	4.27	平均	4.29

○要介護2は1名。要介護3が6名。要介護4、5の在苑者数が共に増加した事もあり平均介護度は上がっている。

【表 5】

在所期間

2025年3月31日現在

	男	女	計
1年未満	4	12	16
1年以上2年未満	1	17	18
2年以上3年未満	2	10	12
3年以上4年未満	0	4	4
4年以上5年未満	1	3	4
5年以上6年未満	0	0	0
6年以上7年未満	0	2	2
7年以上8年未満	0	2	2
8年以上9年未満	0	1	1
9年以上10年未満	0	0	0
10年以上	0	0	0
計	8	51	59

○在所期間1年未満が25名で43.1%となった。

【表6】

＜身辺自立状況＞
日常生活動作等の状況

2025年3月31日現在

入所者の日常生活動作等の状況		一部介助	全介助	備 考
	移動介助	26 人 (8人)	34 人 (31人)	一部：歩行補助具を使用したり、一部介助すれば移動できる。 全部：自力では補助具を使用できないので全て介助を要する。
	食事介助	9 人 (5人)	9 人 (9人)	一部：スプーン等を使用し、一部介助すれば食事できる。 全部：全部介助しないと自分では食べられない。
	排泄介助	26 人 (25人)	24 人 (21人)	一部：介助があれば簡易便器及びトイレを使用し排泄できる。 全部：常時オムツを使用している。
	着脱衣介助	36 人 (24人)	20 人 (20人)	一部：手を貸せば、着脱できる。 全部：自力ではできないので全て介助を要する。
	入浴介助	16 人 (8人)	43 人 (46人)	一部：身体を洗う時や浴槽の出入りに介助を要する。 全部：自力ではできないので全て介助を要する。
	車椅子使用者数	57 (50人)		自走：10人(17人)、一部介助：13人(9人)、全介助：32人(27人)
	認知症	53人 (53人)		認知症とは判断力、理解力の低下に伴い、記憶又は見当識障害が継続すると認められる者をいう。

※ () 内は前年度の数字

【表7】

＜事故 ・ ヒヤリハット報告＞

計 333件 (361件)	187件 (184件)	・ ヒヤリハット報告（見逃せば事故につながった可能性が強いもの） ・ 事故報告（行政への報告義務がなく、苑内対応で済んだもの）
	146件 (177件)	

事故報告内容 (件数)

保険者に報告した骨折、入院	3 (4)
転 倒・転 落・滑 落	29 (28)
外 傷	85 (107)
異 食	3 (2)
誤 嚥	2 (0)
誤 薬	4 (1)
そ の 他	23 (35)
計	149 (177)

外傷85件中、3cm×3cm以下の皮下出血 65件

※ () 内は前年度の数字

【表 8】

<入所者ならびに職員の健康診断状況>

(ア) 入所者

2025年3月31日現在

		人 数	検 査 内 容
入所者及び新規入所者の健康診断	実人数	76名	胸部X-P・心電図・採血・尿検査
臨時検査(体調不良時等)	実人数	68名	採血、X-P、検尿、CT、エコー等

(イ) 職員

	人 数	対象者	検 査 内 容
9 月	53名	職員全員	問診・内科検診・聴力・胸部X-P 心電図・身長・体重・血圧・検便 希望者はPWV(動脈硬化)検査
2 月	26名	介護者	腰痛健診(問診含む)
3 月	18名	夜勤者	採血・検尿・血圧・身長・体重

(ウ) インフルエンザの予防接種

入所者	延人数	56名
職 員	延人数	42名

(エ) 新型コロナウイルスワクチン接種

利用者	延人数	28名
職 員	延人数	0名

【表 9】

<療養食>

2025年3月31日現在

食種	糖尿病食	糖尿・減塩食	減塩食
人数	0	0	9

【表 10】

<行事食>

・行事食実施回数 年30回

2025年3月31日現在

月	日	行 事 名	内 容
4	24	春の旬御膳	そら豆としらすの混ぜご飯、吸物、鯨の若草焼き、ふきの煮物、いちごムース
5	5	端午の節句	五目ちまき風炊き込みご飯、吸物、鯨の山椒焼き、おくらと長芋のわさび和え、サイダーゼリー
	12	母の日	エビピラフ、スープ、チキンピカタ、トマトとアボカドのサラダ、いちごプリン
6	18	父の日	カツ重、赤だし汁、おくらときのこのおろしポン酢和え、あじさいゼリー
	25	郷土料理「石川県」	ご飯、とり野菜みその味噌汁、鶏肉の治部煮、胡瓜とカニカマの酢の物、加賀棒ほうじ茶ゼリー
7	7	七夕	七夕そうめん、鶏天、みょうがと胡瓜の和え物、天の川ゼリー
	13	お盆	鯨の香味ご飯、かきたま味噌汁、枝豆とコーンのかき揚げ、胡瓜とホクテ風味の酢の物、あずきミルクプリン
	24	土用の丑の日	うなぎのちらし寿司、みょうがの吸物、鶏肉と夏野菜の炊き合わせ、夏みかん缶
	26	パリオリンピック	クロワッサン、コンソメスープ、さばのラビゴットソース、ラタトゥイユ、白桃缶
8	13	お盆	とうもろこしご飯、味噌汁、さばの梅ソース、茄子の揚げ浸し、抹茶プリン
	23	育秀苑祭り	焼きそば、トマトと玉子の中華スープ、ゴーヤととうもろこしの白和え、すいか
	31	野菜の日	ご飯、コンソメスープ、豚しゃぶサラダダリル野菜添え（自家製ドレッシング）、キャロットゼリー
9	14	敬老会	カニの炊き込みご飯、吸物、鯨の柚庵焼き、天ぷら、煮物、果物（メロン、梨） おやつ：紅葉羊かん
	30	新米フェア	ご飯（新米）、きのこ汁、たらのかんずり味噌焼き、のっぺ、柿
10	24	秋の味覚御膳	さんまの炊き込みご飯、なめこ汁、鶏肉と秋野菜の甘酢あん、春菊の和え物、梨
11	16	秋祭り	きのこご飯、吸物、さばの黄身焼き、蓮根とさつま芋の金平、洋梨ヨーグルト
	25	和食の日	赤飯、吸物、たらのかぶら蒸し、茶碗蒸し桜海老あんかけ、柿
12	21	冬至	ご飯、けんちん汁、白身魚の柚子味噌焼き、かぼちゃの煮物、いちごヨーグルト
	22	クリスマス	チキントマトドリア、オニオンスープ、海老とブロッコリーのサラダ、いちごとキウイのカクテルゼリー
	25		キャロットライス、コーンポタージュ、鶏肉のピザ風味焼き、小エビのマリネ、黄桃缶
	31	大晦日	年越しそば（エビ天）、里芋のゆず味噌煮、みかん缶
1	1	正月祝膳	鯨といくらちらし寿司、吸物、カレイの金柑焼き、おせち盛り合わせ、炊き合わせ、果物
	2	正月	赤飯、のっぺい汁、鯨の西京焼き、菜の花と蒸し鶏のくるみ和え、パイ
	3		わかめご飯、かきたま汁、鶏肉の照り焼き、胡瓜の酢の物ゆず風味、みかん
	7	七草	七草粥、えびつみれの煮物、春菊の和え物、たいみそ
	15	小正月	小豆粥、里芋のそぼろ煮、和え物、のり佃煮
2	2	節分	穴子のちらし寿司、いわしのつみれ汁、春菊の柚子風味和え、きなこプリン黒蜜ソース
	20	如月御膳	ぶりと生姜の炊き込みご飯、粕汁、寄せ鍋風煮物、いちご
3	3	ひな祭り	ちらし寿司、あさりの吸物、鶏肉とたけのこの煮物、桃ゼリー
	21	お花見御膳	赤飯、吸物、春の天ぷら盛合せ、春キャベツと蒸し鶏の和え物、いちごとキウイフルーツ
毎月		お誕生日会	プリンアラモード、抹茶あんみつ、キウイとヨーグルトのパフェ、和風マロンパフェ等

その他

- ・栄養ケア・マネジメント実施
- ・経口摂取維持のための多職種会議実施（週1回）

【表 1 1】

<家族との連携状況>

(1) 月別の面会状況

2024年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	98	170	170	183	118	163	223	187	180	134	161	220

計 2007 人 月平均 167 人

- 面会時間、面会人数等を一部制限しながら面会を実施。
施設内の感染状況に応じて面会を中止しました。
看取り介護の方は、個別対応実施。

(2) 外泊の状況について

- 外泊者は0名でした。

(3) 家族との連絡

- 定期的連絡 年12回（毎月の行事及び各利用者の先月の様子を含めたお知らせを送付）
○ 介護保険に関する連絡 随時
○ 利用者の健康状態などについての連絡 随時
○ ケアプランの承認及び、栄養ケア計画書、個別機能訓練計画書等の承認 随時
○ 予定していた家族懇談会は、感染症予防対策のため未実施

【表 1 2】

<実習生の受け入れ状況>

2025年3月31日現在

受け入れ校等	実習目的	実人数	実習延日数	備考
開進第三中学校	職場体験	4 人	8 日	特養
東京福祉保育専門学校	介護福祉士実習	3 人	47 日	特養
帝京平成大学	看護学生高齢者実習	11 人	33 日	特養
日本福祉教育専門学校	社会福祉士実習	2 人	34 日	包括、特養
帝京大学	地域在宅看護学実習	5 人	5 日	包括
計		25 人	127 日	

<地域との連携（社会資源）及び、ボランティア活動>

2025年3月31日現在

名 称	活 動 内 容	延人数	費用弁償の有無
桜台2・3丁目町会	災害協定・防災合同訓練・祭礼等	1 人	無
ぶどうの木保育園	訪問交流	3 人	無
にじいろ保育園	訪問交流	18 人	無
個人ボランティア	洗濯物整理・縫い物	44 人	無
	傾聴	52 人	無
	清掃・リネン交換	65 人	無
	車いす清掃	60 人	無
グループボランティア	演奏会等	7 人	無

<地域社会への貢献等>

2025年3月31日現在

名 称	活 動 内 容	開催数	参加延人数
☆桜いちばん星★	地域サロン(体操、講座等)	9 回	60 人

【表 1 3】

<クラブ（サークル）参加状況>

2025年3月31日現在

	平均参加人数	指 導 者	指導補助者	回 数
レク活動	月間 約20人	職員	無	週 1 回
園児交流会	中止	職員	有	中止
花あそび	未実施	講師	有	未実施

【表 14】

2024年度 年間行事実施状況

月	日	曜 日	行 事 名	内 容
4	1～14	月～日	花見	散歩しながら近隣の花見をしたり、3階テラスの花や地下の桜を眺めました。
5	5	日	端午の節句	花菖蒲と五月人形を飾って端午の節句を祝いました。
	12	日	母の日	赤いカーネーションの花束を用意し記念撮影をし、行事食で母の日を祝いました。
6	16	日	父の日	ひまわりの花束を用意し記念撮影をし、行事食でお祝いをしました。
7	6	土	七夕	折り紙で星を作成しボールプールの中に投げるゲームを行ったり、七夕にちなんだ歌を歌い楽しみました。
9	18	水	敬老祝賀会	対象者に賞状と記念品をお渡ししたり、スライドショーにてお祝いを行いました。
11	4～11	月～月	開設記念の作品展	作品の展示と、製作中のご様子も写真撮影し展示しました。
11	16	土	秋祭り	金魚すくいや盆踊りを踊り楽しみました。
12	22	金	クリスマス会	職員によるマジックショーや演奏会を行い、行事食を楽しみました。
1	1	水	新年祝賀会・初詣	元旦祝膳で新年を祝いました。
2	2	日	節分豆まき	鬼の的に向かって新聞球を投げや行事食を楽しみました。
3	3	月	雛祭り	1Fフロアに雛人形、桃の花を飾り節句を祝いました。

通 年	園児訪問	10月17日	玄関先で距離を取って実施。
	金管楽器音楽会	なし	ボランティアや事業者と施設の都合により未実施。
	趣味活動 (花あそび)	なし	
	被服販売会	なし	

【表 15】

ショートステイ稼働表

	ショートベッド			空きベッド利用可能日数			新規 利用者数
	枠	利用日数	利用率	利用可能 日数	利用数	利用 率	
4 月	150	114	76.0%	149	2	1.3%	1
5 月	155	132	85.2%	170	9	5.3%	1
6 月	150	113	75.3%	63	9	14.3%	3
7 月	155	123	79.4%	53	2	3.8%	3
8 月	155	119	76.8%	53	6	11.3%	1
9 月	150	126	84.0%	104	17	16.3%	3
10 月	155	100	64.5%	41	0	0%	3
11 月	150	122	81.3%	10	1	10.0%	4
12 月	155	144	73.5%	76	1	1.3%	2
1 月	155	72	46.5%	77	2	2.6%	3
2 月	145	136	93.8%	95	31	32.6%	2
3 月	155	141	91.0%	108	11	10.2%	0
合計	1,830	1,412	77.2%	999	91	9.1%	26
	(前年度 71.4%)			(前年度 10.3%)			

【表 16】

ショートステイ利用者要介護度

(単位:人)

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4月	0	0	0	0	45	58	13	116
5月	0	0	0	3	51	69	18	141
6月	0	0	3	24	30	51	14	122
7月	0	0	15	21	24	53	12	125
8月	0	0	23	22	24	45	5	119
9月	0	0	23	32	34	29	25	143
10月	0	0	8	39	46	0	7	100
11月	0	0	38	13	50	9	13	123
12月	0	0	23	25	48	8	11	115
1月	0	0	23	13	39	4	11	90
2月	0	0	51	14	37	5	60	167
3月	0	0	52	23	27	0	50	152
合計	0	0	259	229	455	331	239	1,513
	0%	0%	17.1%	15.1%	30.1%	21.9%	15.8%	100%

2024年度

育秀苑居宅介護支援事業 事業報告

2024年度の重点課題

1 育秀会ブランドの確立

- ① 育秀会の基本精神・理念に基づき、利用者が人権及び尊厳を保持しながら住み慣れた地域において自立した生活を営む事が出来るよう質の高い福祉サービスの提供に向けて業務を遂行しました。
- ② 各関係機関と連携し福祉と医療のネットワーク構築に努め、地域共生社会の中核として利用者や地域から信頼される事業所づくりに取り組みました。

2 サービス向上に対する取り組み

- ① 令和6年度育秀苑ミッション「Have a try ～やってみよう～」を念頭に置き、職員が常に同じ目的意識を持ち丁寧・親切な対応を心掛け、サービスの向上に努めました。また各職員が個人目標シートに沿って業務を遂行し、定期的に成果や達成度の評価を行う事で職員の意識の向上を図りました。
- ② 利用者の意思と人格を尊重し、その有する能力を最大限に活かし自立支援に資するケアマネジメントの提供を進めました。また利用者の心身状況やその置かれている環境等に応じて、利用者及び家族の選択に基づき保健・医療・福祉・民間サービス等が、多様な事業者から総合的かつ効率的に提供されるよう公正中立な立場に立ち、業務を遂行しました。
- ③ 利用者の人権擁護・虐待防止等の為に「高齢者虐待の防止・高齢者の擁護者に対する支援等に関する法律」の規定の遵守、また研修や施設内で行われる虐待防止委員会に参加し職員の意識強化・技術の向上に努めました。
- ④ 法人内研修や練馬介護人材育成・研修センター等の外部団体が主催する研修会等へ計画的に参加し専門性の高い人材育成に努めました。また事業所内での情報交換・課題の共有・相談援助をスムーズに行う事が出来るよう毎朝のミーティングや、週1回定例会議を開催しケアプラン作成能力の向上に努めました。
- ⑤ 「個人情報持ち出し管理簿」を運用し、個人情報の適切な管理を推進しました。また個人情報開示請求等に対しても適切な判断及び行動が出来るよう「個人情報保護管理規定」について理解促進に努めました。

3 経営への取り組み

- ① 居宅介護支援の提供にあたり入院時情報連携加算や退院退所加算等、各種加算を確実に算定し医療連携強化・収益確保に努めて参りました。しかし職員数の増減、並びに今年度新規利用者受け入れ人数48名に対して終了者が72名と上回る結果となり、達成率も平均69.9パーセントと目標達成には至りませんでした。
- ② 特定事業所として職員体制の維持・24時間連絡体制の確保・東京都介護支援専門員実務研修実習の受入れ・定例会議の開催・他法人と共同研修会への参画等、要件を全て満たした事で特定事業所加算の算定を維持する事が出来ました。

- ③ 介護保険法改正等について常に最新の情報を収集し法令遵守に努めた結果、令和7年1月に行われた練馬区福祉部指導検査担当課による運営指導において文書による指摘事項等無く適切な事業運営を図る事が出来ました。
- ④ 感染症や自然災害が発生した場合であっても利用者に対して必要なサービスが安定的・継続的に提供する事が出来るよう、業務継続計画に基づいた研修や訓練に参加する等の対策を強化しました。また災害時の要援護者リストを作成・毎月更新し、担当利用者の緊急時の連絡先の確認を適宜行い、災害発生時における危機管理意識の向上に努めました。
- ⑤ 感染症の発生及び蔓延防止の為、衛生委員会及び感染対策委員会へ定期的に参加し情報収集、意識強化に努めました。
- ⑥ 物価高騰の中、健全な事業所運営を進めていく為、ライフライン、物品購入・業務の効率化等、職員一人一人がコスト削減に対し意識を持ち業務を遂行しました。

4 働きやすい職場づくり

- ① ミーティングや定例会議等を通して職員間で情報を共有し事業所として対応が出来るフォロー体制の構築・円滑な業務運営の遂行に努めました。
- ② 「ワーク・ライフ・バランス」確保の為、職員が休暇を取りやすくチームとして働く快適な職場環境作りに努めてきましたが、超過勤務の縮減・有給休暇取得率の向上には至りませんでした。次年度以降も引き続き業務改善に取り組み快適な職場環境作りを目指します。
- ③ 管理者は職員の労務環境整備、定期的な面談、職員とのコミュニケーションを図り、職員の心身の健康等を日常的に観察しサインを見落とさないよう努めました。
- ④ 管理者はハラスメント防止のため研修等で学びを深め、風通しの良い働きやすい職場環境づくりの推進に努めました。

5 地域域貢献への取り組み

- ① 地域ケアセンター会議、地域ケア圏域会議等に積極的に参加し地域の民生児童委員、老人会、町会、自治会、介護事業者等との連携・顔の見える関係づくりに努めました。
- ② 大規模災害時に対応が出来る事業所として、法人一体となりその基礎作りに努めました。また実際の災害発生時に落ち着いて行動が出来るよう毎月行われる防災委員会への参加に加え、消防署・町会・自治会等で開催する「災害時要援護者の支援に関する会議等」にも積極的に参加し連携強化を図りました。
- ③ 地域の小学校での高齢者等体験での交流を通じて、未来を担う子ども達が福祉についての学ぶ機会の確保に繋がるよう努めました。

要介護度別利用者数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
要支援 総合事業	9	7	7	7	6	6	6	8	8	8	8	8	88 (151)
要介護 1	44	45	37	39	39	37	40	38	35	34	34	35	457 (642)
要介護 2	51	51	48	52	50	51	51	54	55	52	50	47	612 (723)
要介護 3	33	33	33	37	35	32	35	36	35	35	35	34	413 (403)
要介護 4	22	20	19	17	15	16	19	19	15	14	15	14	205 (280)
要介護 5	14	12	11	13	11	12	10	9	15	14	13	12	146 (162)
介護 合計	164 (193)	161 (184)	148 (180)	158 (183)	150 (185)	148 (187)	155 (192)	156 (181)	155 (183)	149 (182)	147 (185)	142 (175)	1,833 (2,210)

※（ ）内は前年度の数字

2024年度

事業報告

第2育秀苑

2024年度

第2育秀苑事業報告

介護報酬の改正で強化された、BCP、身体拘束・虐待の防止等は研修等を通じて意識の向上に努めました。新たな加算取得については検討段階で留まっており、引き続き加算の取得に向け取り組んでまいります。また、経営面では介護報酬単価の見直し、水道光熱費や物価の高騰により厳しい1年となりました。食材料費の高騰にあたっては、都度給食委託業者とも相談の上、対応を協議することで2024年度は乗り越えることができましたが、翌年度にも大きく影響を残す形となりました。また、物価高騰については日々利用する衛生用品や消耗品等の費用増加に繋がっており、使用方法や製品の見直しを行うことで、コスト削減に取り組みました。

特養においては導入しているICT機器の運用が円滑になり、利用者の体調確認や生活リズム等の把握に活用しました。年度末にかけて利用者の体調不良による入院者が多い1年となり目標達成には至らず、次年度へ課題を残す形となりました。

訪問介護は、報酬単価の引き下げ等により大幅な収入減少となっただけでなく、訪問介護員の高齢化が進んだうえ、新たなヘルパーの採用に至らず、新規利用者の受入れの対応が困難な状況もあり、稼働低下の要因の一つともなっています。訪問介護員5名が高齢などを理由に退職しました。

地域包括支援センターの街かどケアカフェ事業や、特養の地域サロンを通じて、今年度は地域の方にも施設をご利用いただきながら、施設の存在を認識していただける1年になったと感じています。引き続き、安定した稼働を維持することで、利用者サービスの向上に努めるとともに、社会活動を通じて、地域貢献に取り組んでまいります。

1. 職員配置状況

2025年3月31日現在で常勤職員38名、非常勤職員44名、計82名体制で職員を配置しました。【表1-①】

2. 職員採用

2025年度の採用は【表1-②】の通りです。

1) 正規職員については、新規採用1名、他施設からの異動1名、退職者1名、他施設への異動1名でした。

2) 非正規職員については、新規採用4名、他施設への異動1名、退職6名でした。

3. 職員研修

法人のレベル別研修や外部研修に積極的に参加しました。また、施設内研修においては集合研修や、動画研修を活用することで、多くの職員が参加できるように企画し、施設内研修を実施しました。また外部研修に参加した職員や委員会を主体とした研修の企画・講師を行うことで、職員個々の意識や知識の向上に取り組みました。【表-2①②】

4. 防災管理

BCP を実効性のあるものとするため、無線機を使用した通信訓練や非常食の炊き出し訓練、非常用発電機の使用訓練等を行いました。また、練馬区が実施する「災害時安否確認訓練」「福祉避難所開設・運営訓練」に参加し、利用者の安否確認の方法や避難支援をどのように行うかを検討すると共に福祉避難所としての受け入れ体制について理解を深めました。また、東京都の補助金を活用し、可搬型蓄電池とソーラーパネルを購入し、非常用電源を整備しました。【表 3】

5. 施設整備

今年度は利用者の楽しみでもある安定した食の提供を安全かつ効率的に行うため、古くなった厨房機器の一部入れ替えを行いました。また、急を要さない機器等については修繕や定期的なメンテナンスにより、機器の安全性を確保し、維持管理に努めました。

【表1-①】

2024年度 職員配置及び異動状況

(1) 配置状況

特養 定員50名

ショート

定員6名

2025年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非常勤	
施 設 長	1	1		
医 師	必要数		2	内科、精神科
事 務 員		2		
介護支援専門員	1	2 (兼務1)	1 (兼務1)	
生 活 相 談 員	1	1	1	
介 護 職 員	17	16 (介護福祉士15)	9 (介護福祉士4)	常勤換算21.1人
看 護 職 員	2	1	3	常勤換算3.6人
管 理 栄 養 士	1	1		
調 理 職 員				委託
機能訓練指導員	1	1	1	
クリーンスタッフ			5	
宿 直 員			4	
計	24	25 (兼務1)	25	

訪問介護事業所

2025年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非常勤	
管理者	1	1 (兼務1)		
サービス提供責任者	3	3		
ホームヘルパー			18	
計	4	4 (兼務1)	18	

地域包括支援センター

2025年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非常勤	
主任介護支援専門員	1	1		
社会福祉士	1	1		
保健師	1	1		
生活支援コーディネーター	1	1		
介護支援専門員	2	2		
訪問支援員	2	2		
事務員			1	
計	8	8	1	

生活支援員センター

2025年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非常勤	
生活支援員	2	2		
計	2	2		

合 計	36	39 (内兼務2)	44	
-----	----	-----------	----	--

【表1-②】

(2) 職員異動状況

常勤職員 採用

2025年3月31日現在

年 月 日	形 態	職 種	特 養	ヘルプ	包括	支援員	管理課	備 考
6.8.1	採用	介護職員	1					

常勤職員 異動

年 月 日	形 態	職 種	特 養	ヘルプ	包括	支援員	管理課	備 考
6.4.1	異動	介護職員	1					育秀苑より
6.9.30	異動	介護職員	1					育秀苑へ

常勤職員 退職

年 月 日	形 態	職 種	特 養	ヘルプ	包括	支援員	管理課	備 考
6.7.31	退職	介護職員	1					

非常勤職員 採用

年 月 日	形 態	職 種	特 養	ヘルプ	包括	支援員	管理課	備 考
6.6.1	採用	介護職員	1					
6.8.1	採用	介護職員	1					
7.1.1	採用	相談員			1			
7.2.25	採用	看護職員	1					

非常勤職員 異動

年 月 日	形 態	職 種	特 養	ヘルプ	包括	支援員	管理課	備 考
7.1.31	異動	相談員			1			

非常勤職員 退職

年 月 日	形 態	職 種	特 養	ヘルプ	包括	支援員	管理課	備考
6.8.31	退職	ヘルパー		1				
6.9.25	退職	ヘルパー		1				
6.9.30	退職	ヘルパー		1				
6.10.31	退職	ヘルパー		1				
6.12.31	退職	ヘルパー		1				
7.2.28	退職	看護職員	1					

2024年度 職員研修

(外部研修参加一覧表)【表2-①】

部署	研修会名	部署	研修会名
施設長	令和6年度 東京都社会福祉協議会 東京都高齢者福祉施設協議会総会	特養	介護・福祉事業のリスクマネジメント（練馬研修センター）
	令和6年度 東京都高齢者福祉施設協議会 特養分科会		施設で取り組む高齢者虐待防止策（練馬研修センター）
	第3回全国老人福祉施設大会・研究会議～JS フェスティバル in 滋賀～		2024年介護報酬改定について
	2024年介護報酬改定について		身体拘束に繋がる不適切なケアをなくす取組（練馬研修センター）
	生産性向上の取組の普及・拡大に向けた介護事業所向けビギナーセミナー（厚生労働省）		アサーティブコミュニケーション研修（東京都福祉協議会）
	生産性向上セミナー（東京都福祉保健財団）		介護職員スキルアップ研修【医療的知識編】（福祉人材センター）
	第24回特別養護老人ホーム経営実態調査フォローアップ研修（東社協）		介護報酬請求事務に関する研修会（初任者編）（社会福祉協議会）
	経営協「法人の価値を高める志のブランディング」		生産性向上の取組の普及・拡大に向けた介護事業所向けビギナーセミナー（厚生労働省）
管理課	管理者向けマネジメント研修（東社協）		社会福祉事業従事者人権研修【I】（東京都福祉局）
	第24回特別養護老人ホーム経営実態調査フォローアップ研修（東社協）		施設ケアマネジメントの実践力アップ講座（社会福祉協議会）
	魅力的なサイト、求人ページの作成サポートセミナー（東社協）		生産性向上セミナー（東京都福祉保健財団）
訪問介護	2024年介護報酬改定と訪問介護事業所の対応（介護労働安定センター）		暮らしの中での看取りを支えるケア（練馬研修センター）
医務	看護職員のためのオンライン情報交換会（社会福祉協議会）		事故・苦情対応のリスクマネジメントについて（福祉人材センター）
	結核予防講演会（結核予防講演会事務局）		高齢者虐待防止研修（東京都福祉保健財団）
生活支援員	在宅で生きる～訪問調剤について知ろう～（ねりまのしゃべねり）		科学的介護定着促進事業講演会（東京都福祉局）
	知っておきたい高齢者介護で必要な医療知識		生産性向上セミナー（東京都福祉保健財団）
	今井塾 医療保険制度のしくみと後期高齢者医療制度（光が丘研修センター）		栄養士のための介護報酬改定と新しい栄養評価基準について（東社協）

(施設内研修)【表2-②】

	研修名		研修名
4月	法令遵守・倫理・防災・権利擁護・高齢者虐待・身体拘束・感染症・リスクマネジメント・個人情報(法人)・ハラスメント	9月	身体拘束適正化② BCP訓練①
		12月	感染症②（冬季感染対策）
		1月	看取りケア・精神的ケア②
4月	高齢者虐待防止①	1月	褥瘡予防対策
5月	事故発生防止・リスクマネジメント①	1月	感染症訓練②
5月	感染症訓練①	2月	感染症・リスクマネジメント②
6月	BCP①	3月	看取り介護②
7月	看取りケア・精神的ケア①	3月	身体拘束②
8月	感染症①（食中毒）	3月	事故発生防止・リスクマネジメント②
9月	高齢者虐待防止② 身体拘束適正化①	3月	BCP②

書面や動画研修も併用実施

2024年度 防災訓練実施状況 【表3】

実施月	訓練内容
4月	防災設備機器説明、BCPの取り組み： 施設内の消防設備機器（消火、警報、避難）の種類や特徴、操作方法等を確認した また、BCPの概要を動画視聴により学んだ 参加者6名
5月	BCP訓練： 福祉避難所に設置するMCA無線機通信定期訓練の理解並びに年間スケジュールを確認した また、3施設合同で実施する無線訓練の概要及び各部署の初動対応について確認した 参加者9名
6月	3施設合同無線訓練： 福祉避難所に設置する無線機を使用して3施設合同での無線訓練を実施 震災発生時の被害状況報告の手順について訓練を行った 参加者8名
7月	BCP訓練： 災害備蓄の確認、非常食の炊き出し訓練、非常用発電機の使用訓練を実施した 参加者8名
8月	BCP訓練： 練馬区が実施する「災害時安否確認訓練」を通じて、利用者の安否確認の方法や避難支援を どのように行うかを検討した 参加者9名
9月	総合防災訓練①： 11月に実施する総合防災訓練の手順確認、見直しを検討した 参加者7名
10月	総合防災訓練②： 総合防災訓練のシミュレーションを実施した。また、練馬消防署が実施する「自衛消防訓練 実務講習会」の参加報告を行った 参加者8名
11月	防災総合訓練③（羽沢町会と合同）： 羽沢町会と合同で防災訓練を実施。地震発生後に2階給湯室での出火を想定して訓練を行った 訓練終了後は羽沢町会の方と福祉避難所の開設手順と運営についての意見交換を行った 参加者 職員12名、利用者1名、羽沢町会5名
12月	福祉避難所開設・運営訓練： 練馬区が実施する「福祉避難所開設・運営訓練」に向けた事前確認を実施した 参加者7名
1月	福祉避難所開設・運営訓練： 福祉避難所運営ガイドラインに基づき、福祉避難所開設から避難者受け入れまでに係る 訓練を実施した 参加者9名
2月	夜間想定防災訓練①： 夜間想定防災訓練のシミュレーションを実施した 参加者8名
3月	夜間想定防災訓練②： 夜間想定防災訓練を実施。介護職員2名、宿直員1名の人員体制で2階汚物処理室での 出火を想定した訓練を行った 参加者9名

2024年度

第2育秀苑 介護老人福祉施設

短期入所生活介護事業 事業報告

2024年度の重点課題

1 育秀会ブランドの確立

- ① for others の基本精神に則り、地域の福祉拠点として小学生や中学生等の福祉体験の受け入れを行い、次世代に福祉の魅力を知っていただけるよう取り組みました。
- ② ご家族や多くの方々に福祉の魅力や施設の雰囲気を知っていただくよう、定期的に、行事や日常の様子などブログやInstagramなどホームページを通じて施設内の様子を発信しました。
- ③ 『思いやりを大切に』を 2024 年度のミッションとしました。利用者・家族・職員、関わる全ての方に対して、思いやりの気持ちをもって接することを行動目標に掲げ、日々の職員間で自身の行動の振り返りを行いながら取り組みました。

2 サービス向上に対する取り組み

- ① 「虐待の芽チェックリスト」を年2回実施し、集計結果について各部署で具体的な取り組みを定め、行動の振り返りを行いました。また、第三者評価利用者調査の受審結果については、結果をふまえて、改めてサービスの質の向上に向けて取り組んでまいります。
- ② サービス向上委員会で行った「お客様アンケート」についての回収率は83%で、8割以上の方が接遇や対応、サービス内容に満足していると回答をいただきました。また、ご意見やご要望については、今後の取組や改善に向けて職員間で共有し、検討してまいります。
- ③ デジタル活用委員会を中心に眠りスキヤンの活用について、運用方法の検討や個々のケースの評価を行い、利用者個々の生活リズム等に合わせたケアの実現に取り組みしました。
- ④ 安定した食の提供と、安全を優先に今年度は厨房機器の交換を行いました。また、修理を繰り返している機器については、機器の安全性を保つよう、部品の交換や定期的なメンテナンスを行いました。

3 経営への取り組み

① 特別養護老人ホーム

年間稼働率は、97.3%（前年度 92.9%）でした。前年度と比較すると稼働率は4.4%増加しましたが、目標であった 98%の稼働率には届きませんでした。上半期においては平均 97.7%、下半期が 96.8%でした。短期間で連続した退所者に対する入所受け入れに満床とするまでの時間を要してしまったことが目標数値に達しなかった要

因のひとつにあります。実調から入所に至るまでの期間短縮が必須になりますが、そのためにも入所に至らなかったケースや早急な入所希望ではないケースにおいても継続的な情報収集を行っていく事が今後の課題となりました。特養・ショートステイの総ベッド稼働率は96.8%（前年度94.9%）でした。

ショートステイ

年間稼働率は、84.9%（前年度87.6%）、空床利用33.1%（前年度40.3%）、総稼働率が92.4%（前年度111.6%）でした。前年度に比べ稼働率は19.2%減少しました。前年度の4月から7月実績に比べ今年度の同期間実績が大きく下回ったことが全体に影響しました。1か月以上のロングショートステイ利用者や1回のご利用が10日から14日程度の利用者が前年度に比べ少なかった事、ご逝去や当苑含め施設入所への移行が多かった事が要因と思われます。又、要介護3や4の利用者が少なかったのも特徴でした。一年を通し、特養空床を有効活用しきれなかった事、特養利用者のコロナ感染や風邪症状継続に伴うショートステイ利用控え等もありました。新規利用者については26名と前年度と同数でした。新規利用者も増えてはきていますが、継続して増やしていくための対策が必要と考えます。

- ② 業務継続計画（BCP）の見直しを定期的に行い、訓練を2回実施しました。有事に備えて防災アプリや蓄電池の導入も行い、安定して迅速な対応が行えるよう体制を整えました。
- ③ ホームページやブログ、インスタグラムなどのソーシャルメディアを活用した採用活動の実施、キャリアアップ等の情報発信を行い、人材確保に貢献しました。
- ④ 物価やエネルギーの価格高騰に対し、東京都補助金の活用その他、各会議・委員会等で備品管理や電気・水道等の利用方法について検討を繰り返し、コスト削減を意識しました。
- ⑤ 定期的に修理を繰り返している設備等や経年劣化により部品供給が困難となりつつある機器については、中長期的な計画のもと、一部入替を行い、それ以外においても修繕や定期的なメンテナンスを行い、安全かつ安心して利用できるよう努めました。

4 働きやすい職場づくり

- ① 次世代介護機器導入促進支援事業を活用して導入した眠りスキャン等、ICT機器の活用を積極的に進めたことにより、これまで以上に業務の効率化、職員の心身の負担の軽減につながりました。
- ② 育秀会キャリアパス制度に則り、自身のキャリアアップに期待感を持てるよう、個々の経験・習熟度等に合わせたレベル配置を行い、現状に合った育成体制を整備し、取り組みました。
- ③ 生産性向上ガイドラインに基づいた生産性向上委員会の設置及び活動を継続的に実施し、職員の負担軽減に資する具体的内容を検討しました。
- ④ 幅広い人材が活躍できるよう、業務の見直し、個々の能力や経験に応じた人員配置を行い、働きやすい職場づくりに取り組みました。
- ⑤ 定期的なストレスチェックの実施や職員面談を行い、個々の職員が抱えている課題や不安を理解し、解消できるよう業務内容や配置の見直しを行うことで、誰もが働きやすい職場づくりを目指しました。

5 地域貢献への取り組み

- ① 特別養護老人ホームとして地域住民に対し「講座・地域サロン」を開催しました。今後も活動を更に充実させ、地域の福祉拠点としての役割を果たしてまいります。
- ② 施設内の地域交流スペースを開放し、民生委員、ボランティアの活動拠点として地域との交流を図りました。
- ③ 地域の保育園や小中学校の職業体験の受け入れ、介護等体験への職員派遣を通じて、福祉教育や魅力の発信に力を入れてまいりました。福祉分野での実習生受入を継続して行い、次世代の福祉人材の育成に積極的に取り組みました。
- ④ 「ねりま社会福祉法人等のネット」のメンバーとして、地域における社会福祉法人の役割や全大会の開催を通して情報共有を図り、地域のニーズに即した取り組みを進めて参りました。
- ⑤ 地域の方との合同防災訓練を開催し、施設における防災への意識を共有しました。開進第四小学校で行われた羽沢町会防災訓練、避難拠点開催訓練に参加し、避難拠点担当として避難者の居住スペースや災害備蓄の紹介を行いました。地域の防災対策の連携をより一層強く意識してまいりました。

【表 1】

特養稼働表

2025年3月31日現在

	定員	利用日数	利用率
4月	1,500	1,484	98.9%
5月	1,550	1,523	98.3%
6月	1,500	1,466	97.7%
7月	1,550	1,497	96.6%
8月	1,550	1,511	97.5%
9月	1,500	1,462	97.5%
10月	1,550	1,517	97.9%
11月	1,500	1,436	95.7%
12月	1,550	1,521	98.1%
1月	1,550	1,540	99.4%
2月	1,400	1,334	95.3%
3月	1,550	1,464	94.5%
合計	18,250	17,755	平均 97.3%

(前年度平均 92.8%)

【表 2】

在籍状況及び理由別入退所状況

2025年3月31日現在

月	月初在籍者数	入 所					退 所							
		家庭	病院	老人保健施設	その他	計	死亡	長期入院	社会復帰	福祉施設	老人保健施設	家庭	その他	計
4月	49	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
5月	50	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
6月	50	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	4
7月	48	1	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0
8月	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	49	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	50	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	2
11月	48	2	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1
12月	49	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
1月	49	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	50	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	1	2
3月	49	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
計	590	6	0	3	1	10	9	0	0	0	0	0	3	12

○2024年度の死亡退所者は9名、内8名は苑で看取りました。

【表3】

年齢・性別一覧

2025年3月31日現在

年齢	男	女	計
60歳以上65歳未満	0	0	0
65歳以上70歳未満	0	0	0
70歳以上75歳未満	1	1	2
75歳以上80歳未満	1	3	4
80歳以上85歳未満	2	1	3
85歳以上90歳未満	2	6	8
90歳以上95歳未満	2	14	16
95歳以上100歳未満	3	9	12
100歳以上	0	2	2
計	11	36	47
平均年齢	87	90.8	89.9
	(86.1)	(90.4)	(89.5)

() 内は前年度

○昨年比、男女共に平均年齢が上がりました。

○最高齢 101歳 ・ 最年少 72歳

【表4】

要介護度構成

2025年3月31日現在

2024年3月31日現在		2025年3月31日現在	
要介護度 1	0	要介護度 1	0
要介護度 2	0	要介護度 2	0
要介護度 3	5	要介護度 3	5
要介護度 4	24	要介護度 4	24
要介護度 5	20	要介護度 5	18
計	49	計	47
平均	4.31	平均	4.28

※昨年比、平均要介護度が0.03下がりました。

【表5】

在所期間

2025年3月31日現在

	男	女	計
1年未満	1	7	8
1年以上2年未満	4	8	12
2年以上3年未満	4	5	9
3年以上4年未満	1	3	4
4年以上5年未満	0	3	3
5年以上6年未満	0	4	4
6年以上7年未満	0	2	2
7年以上8年未満	0	2	2
8年以上9年未満	0	0	0
9年以上10年未満	1	0	1
10年以上	0	2	2
計	11	36	47

○在所期間が最長の方は14年11か月入所されています。

【表6】

＜身辺自立状況＞
日常生活動作等の状況

2025年3月31日現在

入所者の日常生活動作等の状況		一部介助	全介助	備 考
	移動介助	14 人 (17人)	24 人 (22人)	一部：歩行補助具を使用したり、一部介助すれば移動できる。 全部：自力では補助具を使用できないので全て介助を要する。
	食事介助	13 人 (16人)	9 人 (5人)	一部：スプーン等を使用し、一部介助すれば食事できる。 全部：全部介助しないと自分では食べられない。
	排泄介助	24 人 (33人)	19 人 (13人)	一部：介助があれば簡易便器及びトイレを使用し排泄できる。 全部：常時オムツを使用している。
	着脱衣介助	37 人 (38人)	8 人 (9人)	一部：手を貸せば、着脱できる。 全部：自力ではできないので全て介助を要する。
	入浴介助	12 人 (11人)	35 人 (38人)	一部：身体を洗う時や浴槽の出入りに介助を要する。 全部：自力ではできないので全て介助を要する。
	車椅子使用者数	40人 (37人)		自走：2人（2人）、一部介助：17人（17人）、全介助：21人（21人）
	認知症	46人 (46人)		認知症とは判断力、理解力の低下に伴い、記憶又は見当識障害が継続すると認められる者をいう。

※（ ）内は前年度の数字

【表7】

＜事故 ・ ヒヤリハット報告＞

計 282件 (299件)	178件 (174)	・ ヒヤリハット報告（見逃せば事故につながった可能性が強いもの） ・ 事故報告（行政への報告義務がなく、苑内対応で済んだもの）
	104件 (125)	

事故報告内容	(件数)
保険者に報告した骨折、入院	1 (1)
転 倒・転 落・滑 落	34 (38)
外 傷	36 (31)
異 食	4 (10)
誤 嚥	0 (0)
誤 薬	8 (3)
そ の 他	22 (44)
計	105 (127)

※（ ）内は前年度の数字

【表 8】

<入所者ならびに職員の健康診断状況>

(ア) 入所者

2025年3月31日現在

		人 数	検 査 内 容
入所者の誕生日検診	実人数	53名	胸部X-P・心電図・採血・尿検査
臨時検査（体調不良時など	延人数	16名	採血・X-P・検尿・CT・エコーなど

(イ) 職員

	人 数	対象者	検 査 内 容
9 月	50名	職員全員	問診・内科検診・聴力・胸部X-P 心電図・身長・体重・血圧・検便 腰痛健診（問診含む）・希望者は胃透視
3 月	28名	夜勤者	採血・検尿・血圧・身長・体重・腰痛健診（問診含む）

(ウ) インフルエンザ予防接種

入所者	延人数	48名
職 員	延人数	57名

(エ) 新型コロナウイルスワクチン接種

入所者	延人数	41名
職 員	延人数	0名

【表9】

＜療養食＞

2025年3月31日現在

食種	糖尿食	減塩食
人数	1	3

【表10】

＜行事食＞

・行事食実施回数 年24回

2025年3月31日現在

月	日	行事名	内 容
4	1	お花見	桜ちらし、すまし汁、菜ばなの胡麻和え、苺パナロー おやつ：桜まんじゅう
5	5	子供の日	オムライス、コンソメスープ、エビ&ホタテフライ、メロンゼリー おやつ：鯉のぼり（ねりきり）
	12	母の日	ちらし寿司、すまし汁、竹の子とあさりの酢味噌和え、白桃ゼリー おやつ：ねりきり（カーネーション）
6	16	父の日	天丼、すまし汁、わかめと胡瓜の酢の物、フルーツ おやつ：ねりきり（黄のバラ）
7	7	七夕	七夕そうめん、五目玉子焼き、冬瓜のくずあん、フルーツ おやつ：夏のねりきり
	24	土用の丑の日①	鰻ちらし、すまし汁、切昆布の煮物、フルーツ
8	4	納涼祭	焼きそば、和風サラダ、チョコバナナ おやつ：アイスクリーム
	5	土用の丑の日②	うな玉丼、とろろ昆布のすまし汁、和風サラダ、フルーツヨーグルト
	15	終戦記念日	十五穀ご飯、けんちん汁、精進揚げ、ほうれん草のお浸し、抹茶水羊羹小豆がけ
9	16	敬老会	栗おこわ、吸物、天ぷら、松風焼き、炊き合わせ、紅白なます、デザート おやつ：寿の日（饅頭）
	17	十五夜	お月見そば、海老しんじょう、抹茶あんみつ おやつ：十五夜まんじゅう
	22	秋のお彼岸	おはぎ、豚汁、冬瓜のカニ風味あんかけ、酢味噌和え
11	3	文化の日	吹き寄せ御飯、吸物、赤魚の塩焼き、柿なます、マロンパナロー おやつ：ねりきり（秋の彩）
12	21	冬至	ご飯、粕汁、鯉の山椒焼き、かぼちゃのいとし煮、かぶの柚子和え
	24	クリスマス	チキンライス、コンソメスープ、ミートローフ、シーフードサラダ おやつ：サンタ饅頭orリース焼切り
	31	大晦日	年越し蕎麦、筑前煮、フルーツ
1	1	正月祝膳	五目ちらし寿司、吸物、鰻の照焼、紅白なます、伊達巻、蒲鉾、デザート おやつ：紅福寿・白花うさぎ・祝い華（ねりきり）
	2	ミニ祝膳	赤飯、味噌汁、赤魚の塩焼き、里芋のそぼろあん、フルーツ おやつ：上用まんじゅう（干支）
	7	七草	七草粥、いわし蒲焼、白菜のごままぶし、梅干し
	11	鏡開き	三色もちもどき（小豆、ゴマ、きなこ）、豚汁、あさりとわけぎのぬた、フルーツポンチ
2	2	節分	のり巻き、いなり寿司、粕汁、南瓜のいとし煮、大豆の五目煮 おやつ：ねりきり（赤鬼）
	14	バレンタインデー	菜飯、味噌汁、ハートのミートコロッケ、いんげんと竹輪の炒め煮、チョコバナロー
3	3	ひな祭り	ひなちらし、吸い物、ふきの炒り煮、菜の花の酢味噌和え、白桃羹 おやつ：おびな・めびなまんじゅう
	20	春のお彼岸	三色おはぎ、けんちん汁、ふきの煮物、いちごミルク

その他

- ・栄養ケア・マネジメント実施
- ・経口摂取維持のための多職種会議実施（月2回）

【表11】

＜家族との連携状況＞

(1) 月別の面会状況

2024年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	50	77	28	74	88	43	107	87	86	81	51	76

計 848人 月平均 70.66人

(2) 外泊の状況について

○ 外泊者は0名でした。

(3) 家族との連絡

- 定期的連絡 年12回（毎月の利用者の様子、行事等のお知らせを送付）
- 介護保険に関する連絡 随時
- 利用者の健康状態などについての連絡 随時
- ケアプラン、栄養ケア計画書、個別機能訓練計画書等の承認 随時

【表12】

＜実習生の受け入れ状況＞

2025年3月31日現在

受け入れ校等	実習目的	実人数	実習延日数	備考
上智大学	社会福祉士取得	2人	33日	包括・特養
日本福祉教育専門学校	社会福祉士取得	1人	26日	包括・特養
帝京大学	看護師取得	8人	8日	包括
帝京平成大学	看護師取得	11人	33日	特養
東京福祉保育専門学校	介護福祉士取得	2人	38日	特養
十文字学園女子大学	介護福祉士取得	3人	14日	特養・ホームヘルプ
東京心理音楽療法専門学校	介護福祉士取得	1人	8日	特養
練馬総合病院	認定看護管理者取得	1人	1日	包括
開進第四中学校	社会福祉施設体験	25人	25日	特養
計		54人	186日	

＜地域との連携（社会資源）及び、ボランティア活動＞

2025年3月31日現在

名称	活動内容	延人数	費用弁償の有無
縫い物グループ	介護用品小物作成・利用者衣類修理	0人	無
ぶどうの木保育園	交流会	39名	無
マジックボランティア	マジック講演	2人	無
園芸ボランティア	花壇整備	1人	無
傾聴ボランティア	傾聴	10人	無
行事ボランティア	行事アトラクション	0人	無

※上記以外に、傾聴ボランティア団体と絵はがき等を通じて交流を行いました。

＜地域社会への貢献等＞

2025年3月31日現在

名称	活動内容	開催数	参加延人数
地域サロン	介護予防教室	3回	12名

【表13】

＜クラブ（サークル）参加状況＞

2025年3月31日現在

	平均参加人数	指導者	指導補助者	回数
書道	0名	職員	無	無
手工芸	0名	職員	無	随時

【表14】

2024年度 年間行事実施状況

月	日	曜日	行事名	内 容
4	～末日		花見	プランターでお花の種や球根を育て、1階庭に育てた苗を植えつけました。庭でお花見を行い、記念撮影や地域交流スペースでお茶会を行いました。
5	1～5	火～土	端午の節句	五月人形と鎧兜を展示し、各階にこいのぼりを飾りました。こいのぼりに立体感を出すため新聞紙を丸めて鯉に入れる作業を行いました。また菖蒲湯を行い、菖蒲の香りを感じて頂きながら入浴を行いました(5/2～4)。
	12	日	母の日	4月から貼り絵をして、母の日の壁紙づくりを行いました。カーネーションのブーケを持って作成したハート型の壁紙の前で記念撮影を行いました。当日の昼食は華やかなちらし寿司、間食はカーネーションをあしらった練り切りと紅茶で楽しいひと時を過ごすことが出来ました。
6	16	日	父の日	父の日にちなんだイラストポスターを飾り、父の日当日は黄色い花の花かごと共に記念撮影を行いました。色紙でYシャツ型のメッセージカードを作成し、男性ご利用者に送りました。間食時は練り切りとミルクコーヒーを提供し、利用者皆様に召し上がって頂きました。
7	7	日	七夕	短冊・七夕飾りを作成し、各フロアに飾り付けた笹を設置。当日は笹を間近に眺めながら、七夕の由来や物語を説明し、短冊を紹介しました。昼食と間食に七夕にちなんだ行事食を召し上がりました。
8	4	日	納涼祭	地域交流スペースを利用して「輪投げ」や「魚釣り」に興じ、まつり太鼓を自由に叩いて頂きました。ご家族も一緒になって楽しまれ夏のお祭りの雰囲気を感じていただくことが出来ました。
9	18	月	敬老祝賀会	長寿者の健康長寿を利用者様と祝い、式典・祝膳を楽しんで頂きました。今年度節目を迎えられる利用者様を紹介し賞状をお渡ししました。
10	6～20		秋の外気浴	近隣の児童遊園まで外出散歩を行いました。外出困難な方も屋上で外気浴を行い、10月になっても暑いくらいの陽気を感じていただきましたが、いい気分転換を図れました。
11	1～30		利用者作品展覧会	1年間を通して利用者様が作成した作品を展示しました。改めて作品を鑑賞することで一年間の思い出を振り返ることが出来ました。作成した頃を思い出して会話が弾みました。
12	19～21	木～土	冬至(ゆず湯)	湯船に柚子を浮かべ、加えて柚子の入浴剤も使用することで、色や香りで柚子湯を堪能していただきました。
12	24	火	クリスマス会	サンタクロースとの記念撮影を行いました。クリスマスソングに合わせて歌ったりサンタ・ツリーのお饅頭を用意し、その雰囲気を感じていただきました。
1	1	水	新年祝賀会	新年を祝い皆様に乾杯し、お祝い膳をいただきました。
1	6	日	新年会	紙芝居(かさじぞう)を行いました。模造紙に背景を制作したりお地蔵様を制作することで一から作り上げた達成感もあり笑いあり、感動ありの日でした。
2	2	土	節分	段ボールで鬼を作り、口の中に豆代わりの丸めた新聞紙を入れる形で行いました。鬼の口めがけて「鬼は外、福は内。」の掛け声の下、豆を投げながら、健康祈願を行いました。
3	3	月	ひな祭り	雛人形を飾り、ちらし寿司やめびなとおびなの練り切りを召し上がり、桃の節句を祝いました。画用紙で作った桃の花を背景に雛人形と一緒に写真撮影を行いました。
通 年	誕生日会		各誕生日	各利用者の誕生日当日に誕生日カードをお渡しし、みんなでお祝いをしました。
	被服販売会			未実施

【表 15】

ショートステイ稼働表

	ショートベッド			空きベッド利用可能日数			新規 利用者数
	枠	利用日数	利用率	利用可能 日数	利用数	利用率	
4月	180	137	76.1%	16	16	100.0%	0
5月	186	157	84.4%	27	0	0.0%	1
6月	180	128	71.1%	34	0	0.0%	2
7月	186	144	77.4%	53	10	18.9%	2
8月	186	180	96.8%	39	19	48.7%	3
9月	180	171	95.0%	38	34	89.5%	2
10月	186	156	83.9%	33	24	72.7%	5
11月	180	153	85.0%	64	29	45.3%	2
12月	186	166	89.2%	29	0	0.0%	1
1月	186	170	91.4%	10	6	60.0%	3
2月	168	153	91.1%	66	8	12.1%	1
3月	186	144	77.4%	86	18	20.9%	4
合計	2,190	1,859	84.90%	495	164	39.01%	26名
	(前年度 87.6%)			(前年度 40.3%)			

【表 16】

ショートステイ利用者要介護度

(単位:人)

	要支援 1/ 事業対象者	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4月	0	0	15	39	25	58	16	153
5月	0	0	20	29	29	60	20	158
6月	0	0	20	25	15	42	27	129
7月	0	0	21	64	20	14	36	155
8月	0	0	29	71	50	13	38	201
9月	0	0	23	62	19	45	58	207
10月	4	0	25	37	62	12	40	180
11月	0	0	19	31	63	44	25	182
12月	0	0	22	35	29	47	33	166
1月	0	0	44	57	26	41	9	177
2月	0	0	44	35	35	47	0	161
3月	0	0	8	40	26	53	35	162
合計	4	0	290	525	399	476	337	2,031
	0.2%	0.0%	14.3%	25.9%	19.6%	23.4%	16.6%	100.0%

2024年度

第2 育秀苑訪問介護事業 事業報告

2024年度の重点課題

1 育秀会ブランドの確立

- ① 基本精神・理念を念頭に置き職員間で共有し、地域での福祉課題に対し法人の新しい取り組みの検討、サービス提供の実践に努めました。
- ② 合同サービス提供責任者会議において、訪問介護員の確保等の情報共有等を行い事業所間の良いところを取り入れ業務の標準化を図りました。
- ③ 相手の気持ちに立ち、「思いやり」言葉や対応を行うことで、利用者、家族、各関係機関と信頼関係を築けるよう努めました。
- ④ ホームページやインスタグラムで、ホームヘルプサービス事業の取り組みや日常の様子等を身近に感じて頂けるような内容で発信しました。

2 サービス向上に対する取り組み

- ① 集団指導での介護サービス事業所自己点検票を用いて、事業所内の確認を行いました。
- ② 権利擁護や高齢者虐待などの研修を開催し理解を深めました。また虐待の芽チェックリストやお客様アンケート、訪問介護員の活動評価も実施しサービスの質の向上に努め、適正なサービスを実施しました。
- ③ サービス提供責任者は苑内外の研修に参加して知識の習得に努めました。訪問介護員の介護技術の向上や知識を深める機会を集合や書面などで伝達研修を実施しました。

3 経営への取り組み

- ① 感染症対策やBCPの研修や訓練に参加し常に利用者・家族や職員の安全確保に努めました。今後起こる災害に備え情報をアップデートし、必要なサービスが提供できるよう作成したBCPの見直しを定期的に行いました。
- ② ケアマネジャーからの問い合わせに素早く対応し受け入れをすることで、相談しやすい事業所として認識してもらえるように努めました。新規受け入れも月に平均3件ありましたが終了者も同数近くあり130件前後にとどまってしまいました。今後も研修などを通じて職員教育を行いコンプライアンスに基づいた質の高いサービスが提供でき、選ばれる事業所にしていくよう努めていく。
- ③ 地域性や体制作りなども考慮し、新たな加算の取得の検討を行いました。

4 働きやすい職場づくり

- ① 職員の体調面や能力などを考慮して、家庭と仕事が両立できるように一人一人の働き方に合わせた職場環境づくりを行いました。
- ② 日常的に訪問介護員とコミュニケーションを取り、サービスでの困り事の相談、解決

を一緒に考え、多種多様なサービスに対応できるよう職員一人一人に合った指導を行いました。また年間2回ヘルパー会議を実施し、訪問介護員間での情報共有の場と研修を行いサービスの質の向上に努めました。

- ③ 練馬区の資格取得受講料助成制度などの情報を提供し、資格取得に繋がる支援を行いました

5 地域貢献への取り組み

- ① 質の高いサービスを提供することで、住み慣れた地域や自宅での生活を安心安全に継続できるように支援を継続しました。
- ② 地域の居宅介護支援事業所や他事業所とも情報の共有を行い地域住民に寄り添える事業所としての取り組みを行いました。
- ③ 施設が実施する大規模災害を想定した訓練に、地域の方と一緒に参加しました。

【表1】

登録者利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
派遣数	120	125	124	118	128	120	137	133	130	123	119	117	1,494 (1,491)	125 (124)
新規契約	4	5	4	5	7	6	7	8	1	2	2	5	56 (57)	5 (5)
入院	4	5	6	2	3	3	2	7	5	7	2	0	46 (51)	4 (4)
廃止	8	2	5	7	4	2	4	6	3	4	5	0	50 (72)	4 (6)
派遣時間	1,013.4	1,048.1	962.7	1,018.6	1,026.9	974.4	1,049.4	1,076.8	1,019.2	957.4	897.7	1,014.0	12058.6 (13,014)	1,005 (1,085)

()内は昨年度

【表2】

サービス種別状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均	昨年度
生活援助	25.2%	29.8%	27.7%	28.2%	29.3%	25.9%	25.8%	23.0%	23.2%	23.5%	25.3%	23.9%	25.9%	25.3%
身体介護	36.5%	32.2%	32.9%	29.1%	31.5%	36.7%	36.9%	39.3%	37.5%	37.3%	37.7%	39.3%	35.6%	35.7%
身体生活	18.4%	17.9%	19.9%	21.3%	18.5%	16.4%	17.4%	19.6%	20.2%	19.7%	16.7%	16.3%	18.5%	19.4%
総合事業	19.9%	20.2%	19.6%	21.3%	20.8%	21.0%	20.0%	18.1%	19.1%	19.4%	20.3%	20.6%	20.0%	19.6%

【表3】

介護度分布

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
事業対象者	9	10	11	11	10	7	8	9	7	6	6	6	100	97
要支援1	19	17	16	16	16	18	17	17	17	18	18	19	208	234
要支援2	17	17	18	18	21	20	20	19	21	21	20	20	232	196
要介護1	23	26	27	26	26	24	27	26	24	25	21	21	296	244
要介護2	23	23	21	21	24	25	26	29	30	29	27	27	305	345
要介護3	10	10	11	11	10	10	16	15	11	10	13	14	141	158
要介護4	8	7	8	7	6	6	5	6	6	5	4	4	72	103
要介護5	8	9	8	6	6	6	6	5	6	6	7	6	79	114
自費サービス	19	21	18	22	21	24	33	28	23	26	25	25	285	327
合 計	136	140	138	138	140	140	158	154	145	146	141	142	1,718	1,818

2 0 2 4年度

事 業 報 告

第 3 育 秀 苑

2024年度

第3育秀苑事業報告

本年度は、地域とのつながりを再構築する一年となりました。長らく中断されていた地域向けの取り組みを再開し、特に「なないろカフェ（オレンジカフェ）」や「第3育秀苑子ども食堂」の開設は大きな成果となりました。これらの事業は、多部門が連携して準備を進め、地域ボランティアの皆様と協力しながら運営している点が大きな特徴であり、当事業所の強みでもあります。広報については、町会の回覧板を活用して周知を行い、地域住民とのつながりを意識した情報発信に努めました。

第3育秀苑では、「一人ひとりの暮らしを大切に」をミッションに掲げ、行事やイベントの再開に取り組みました。特に秋に実施した運動会では、特別養護老人ホームの利用者全員が地域交流スペースに集い、笑顔と笑い声あふれる、心温まる交流の場となりました。

地域活動としては、豊浜小避難拠点運営連絡会や防災訓練への参加、土支田町会の祭り準備への協力などを行いました。加えて、地域包括支援センターでは年間約100回のカフェを開催し、デイサービスセンターでは「介護が学べるサロン」などの企画を通じて、地域住民との継続的な交流と信頼関係の構築に努めました。

また、「ねりま社会福祉法人等のネット」光が丘地区連絡会では、光が丘地区祭に参加し、福祉相談窓口の周知と福祉への理解促進を図りました。さらに、練馬区施設長会が主催する採用イベント「#FACT」にも参加し、次世代への福祉教育・啓発にも力を注ぎました。

一方で、令和6年度の介護報酬改定では、期待されたほどの報酬引き上げは実現せず、引き続き厳しい運営環境が続いています。水光熱費やガソリン代、食材費などの物価上昇が事業運営に大きな影響を与えている中で、2025年問題への対応として、人材の確保や離職防止は喫緊の課題です。今後も、地域との連携を大切にしながら、質の高いサービスの提供と、働きやすい職場環境づくりに一層取り組んでまいります。

1. 職員配置の状況

2025年3月31日現在、常勤職員45名、非常勤職59名、計104名体制で職員を配置しました。【表1-①】

2. 職員採用

2024年度の採用、退職は【表1-②】の通りです。

- 1) 正規職員は新規採用2名、他部署からの異動3名、退職者4名でした。
- 2) 非正規職員は新規採用27名、退職者13名でした。
- 3) 非常勤職員から正規職員への登用を1名行いました。

3. 職員研修

- 1) 東京都感染対策リーダー養成研修事業に参加し看護職員を中心に学びました。
- 2) 東社協や練馬福祉人材・育成研修センターの外部研修を活用し専門性向上に努め

ました。また、ユニットリーダー研修を2名受講しました。

3) 施設内研修は対面と書面、動画視聴を併用して行い、オンラインを活用した法人間連携研修に参加しました。【表2】

4. 防災管理

1) 防災委員会を毎月1回開催し消火訓練、通報訓練、誘導訓練、総合訓練、放水訓練、連絡訓練、BCP図上訓練を実施しました。【表3】

2) 土支田町会第一支会と防災協定を締結し、地域住民を交えた総合防災訓練を実施しました。

5. 施設整備

1) 職員の労働環境改善のため、全パソコンの入れ替えを行いました

2) 12年の経過とともに給湯器、洗濯機や衣類乾燥機、ルームエアコン、食事洗浄機など修理が発生しました。今後は中長期の修繕計画を作成し、事業運営に支障が発生しないように取り組みます。

3) 社会福祉施設等への非常用電源等整備促進事業補助金を活用し、災害時の電力確保を目的として、各事業所に非常用蓄電池を設置しました。

【表1-①】

2024年度 職員配置及び移動状況

(1) 配置状況

特養 定員60名 ショート 定員6名

2025年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非常勤	
施 設 長	1	1		
医 師	1		2	内科、精神科
事 務 員		1	1	
介護支援専門員	1	1(兼務1)	1	
生 活 相 談 員	1	2		
介 護 職 員	19	23(介護福祉士21)	10(介護福祉士4)	常勤換算30.5人
看 護 職 員	3	2	6	常勤換算4.6人
管 理 栄 養 士	1	1	1	
調理職員				委託
機能訓練指導員	1		2	
清 掃 員			9(兼務1)	
宿 直 員			1	
計	28	31(兼務1)	33(兼務1)	

デイサービスセンター(認知)

定員 24名

2025年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非常勤	
管 理 者	1	1(兼務1)		
事 務 員				
生 活 相 談 員	1.2	2(兼務1)		
介 護 職 員	4(看護職員含む)	2(兼務1)	8(兼務2)	常勤換算7.4人
看 護 職 員		2(兼務2)	4(兼務4)	常勤換算1人
機能訓練指導員	1		1	
運 転 手			4(兼務2)	
計	7.2	7(兼務5)	17(兼務8)	

訪問介護事業所

2025年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非常勤	
管 理 者	1	1(兼務1)		
サービス提供責任者	2	3		
ホームヘルパー			18(兼務1)	
計	3	4(兼務1)	18(兼務1)	

居宅介護支援事業所

2025年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非常勤	
管 理 者	1	1(兼務1)		
介護支援専門員	2	2		
計	3	3(兼務1)		

地域包括支援センター

2025年3月31日現在

職 種	基 準	現 人 数		備 考
		常 勤	非常勤	
社会福祉士	1	2		
主任介護支援専門員	1	1		
保健師(看護師)	1	1		
訪問支援員	2	2		
プランナー	2	2		
事務員			1	
計	7	8	1	

合 計	48.2	53(内兼務8)	69(兼務10)	
-----	------	----------	----------	--

【表1-②】

(2) 職員異動状況

常勤職員 採用

2025年3月31日現在

年 月 日	形 態	職 種	特 養	デ イ	ヘルプ	居 宅	包 括	管 理 課	備 考
2024.4.1	採用	介護職員	1						
5.1	採用	福祉課長	1						
2025.1.1	採用	事務員						1	非常勤職員から常勤職員へ

常勤職員 異動

年 月 日	形 態	職 種	特 養	デ イ	ヘルプ	居 宅	包 括	管 理 課	備 考
2024.4.1	異動	介護支援専門員				1			桜台包括より
4.1	異動	プランナー					1		育秀苑居宅より
9.1	異動	介護職員	1						育秀苑へ
2025.2.15	異動	介護職員	1						育秀苑より

常勤職員 退職

年 月 日	退 職	職 種	特 養	デ イ	ヘルプ	居 宅	包 括	管 理 課	備 考
2024.6.30	退職	事務員						1	
8.31	退職	プランナー					1		
9.30	退職	施設長						1	
10.31	退職	介護支援専門員				1			

非常勤職員 採用

年 月 日	形 態	職 種	特 養	デ イ	ヘルプ	居 宅	包 括	管 理 課	備 考
2024.4.1	採用	ドライバー		1					
4.3	採用	ドライバー		1					
4.5	採用	クリーンスタッフ						1	
4.24	採用	介護支援専門員	1						
5.17	採用	ドライバー		1					
5.29	採用	事務員						1	
6.1	採用	介護支援専門員				1			
7.1	採用	管理栄養士	1						
7.2	採用	ヘルパー			1				
8.1	採用	介護職員	1						
8.1	採用	事務員					1		
8.30	採用	運動指導員		1					
9.2	採用	クリーンスタッフ						1	
10.1	採用	事務員						1	
10.1	採用	介護職員	1						
10.18	採用	運動指導員		1					
11.1	採用	事務員						1	
11.1	採用	クリーンスタッフ						1	
11.1	採用	ヘルパー			1				
11.1	採用	ヘルパー			1				
11.18	採用	運動指導員		1					
11.29	採用	運動指導員		1					
12.11	採用	ヘルパー			1				
2025.1.23	採用	ヘルパー			1				
2.1	採用	管理栄養士	1						
2.10	採用	看護職員	1						
2.19	採用	クリーンスタッフ						1	

非常勤職員 退職

年 月 日	形 態	職 種	特 養	デ イ	ヘルプ	居 宅	包 括	管 理 課	備 考
2024.5.13	退職	事務員						1	
6.30	退職	管理栄養士	1						
7.31	退職	事務員						1	
8.31	退職	クリーンスタッフ						1	
9.17	退職	介護職員	1						
10.31	退職	クリーンスタッフ						1	
11.30	退職	介護職員	1						
11.30	退職	クリーンスタッフ						1	
12.25	退職	看護職員	1						
12.31	退職	管理栄養士	1						
1.31	退職	ドライバー		1					
3.31	退職	理学療法士	1						
3.31	退職	クリーンスタッフ						1	

2024年度 職員研修

(外部研修参加一覧表)【表 2-①】

部署	研修会名	部署	研修会名
施設長 管理課	事業計画における指標管理の必要性と求められる指標	居宅	練馬区で起こりうる自然災害にそなえよう～福祉事業所における防災の基本を知る～
	費用を考慮した指標の考え方とコスト意識の定着		自立支援医療の使い方～うつや認知症でも使えるのを知っていた？～
	稼働向上のための相談員の役割と人材確保・育成		共依存の理解とその支援について考える
	第3回全国老人福祉施設大会・研究会議in滋賀		ヤングケアラーの理解と支援について
	東社協高齢者福祉施設協議会		令和6年度介護保険認定調査員現任研修(第1回第2回)
	東京都介護支援専門員再研修		東京都介護支援専門員研修過程Ⅱ
特養	驚くほど事故が減る！介護・福祉事業のリスクマネジメント		ハラスメントにならないスタッフ指導
	施設で取り組む高齢者虐待防止対策		生活保護制度と低所得者
	令和6年度給食施設栄養技術講習会		練馬区認知症施策について
	いつも計測しているバイタルサイン！理由がわかると利用者の異変にすぐ気づけるようになる！		令和6年度相談支援事業者全体研修会
	高齢者施設の結核対策のポイントと感染症対策		難病におけるピア相談員の意義を理解し、多職種連携に活かす～ピア相談員の立場から～
	いつも計測しているバイタルサイン！理由がわかると利用者の異変にすぐ気づけるようになる！		他法人と行う事例検討会
	ユニットリーダー研修	デイサービス	認知症デイの会「認知症ケア」
	ユニットリーダー研修(実地研修)		防火管理者(甲種)
	法人と職員を守る！利用者・家族からのカスタマーハラスメントへの対応	訪問	法人と職員を守る！利用者からのカスタマーハラスメントへの対応
	生産性向上 経営コンサルタントによる個別相談		移乗・移乗介助基礎研修～ボディメカニクスと持ち上げない介助
	令和6年度社会福祉事業従事者人権研修【Ⅰ】		
	看護職員のためのオンライン情報交換会		
	栄養士のための情報交換会～近隣施設と話そう！BCP どうしてる？～		
	令和6年度給食施設栄養管理者講習会		
	法人と職員を守る！利用者からのカスタマーハラスメントへの対応		

(施設内研修)【表 2-②】

	研修名		研修名
4月	権利擁護・高齢者虐待防止①	10月	衛生講話
5月	個人情報保護	11月	感染症対策(BCP)シミュレーション①
6月	感染症予防①(食中毒)	11月	感染症予防②(冬季感染対策)
6月	リスクマネジメント①	11月	BCP①
7月	身体的拘束廃止①	12月	感染症対策シミュレーション②
8月	日常の観察・看取り介護①	1月	リスクマネジメント②
8月	BCPシミュレーション	2月	BCP②
9月	ハラスメント	3月	認知症ケア
9月	接遇	3月	高齢者虐待防止②身体拘束廃止②
10月	褥瘡予防	3月	看取り介護②

2024 年度 防災訓練実施状況 【表 3】

実施月	訓 練 内 容
4 月	防災機器説明、拠点避難所、福祉拠点避難所： 消火器、消火栓、自動火災報知機、スプリンクラー止水等使用方法の確認 拠点避難所経路及び場所の確認、福祉拠点避難の説明 参加者 11 名
5 月	消火器及び散水栓の実放水訓練： 水消火器、散水栓を実際に使用した訓練を実施 参加者 23 名
6 月	三施設合同無線機訓練： 各施設合同で、無線機を使用した情報共有訓練を実施 参加者 8 名
7 月	防災訓練： 防火・防災について防火管理者からの机上訓練「火事を起こさない、広げない」「初期消火」 「通報、避難」参加者 8 名
8 月	緊急連絡網訓練： メール連絡網（モバイルアプリ）を使用した連絡訓練 参加者 11 名
9 月	緊急連絡網訓練： メール連絡網（モバイルアプリ）を使用した連絡訓練 参加者 97 名 福祉避難所開設訓練： アルファ米を使用した炊き出し訓練 参加者 11 名
10 月	通報訓練： 「リモート防災訓練 キュータと学ぼう 119 番」を使用した通報訓練 参加者 10 名
11 月	BCP 図上訓練（地震対策）： BCP 実践シミュレーションをグループワーク形式で実施 参加者 12 名
12 月	総合防災訓練（昼間想定）： 昼間に 2 階東ユニット出火を想定した通報、初期消火、避難、救護訓練を土支田町会と合 同で実施 参加者 10 名、土支田町会 2 名
1 月	炊き出し訓練： 災害時を想定した炊き出し訓練を実施 参加者 9 名
2 月	総合防災訓練（夜間想定）： 4 階東ユニット出火を想定した通報、初期消火、避難、救護訓練を実施 参加者 10 名
3 月	次年度防災計画立案： 今年度の振り返り、来年度の計画立案 参加者 7 名

2024年度

第3 育秀苑介護老人福祉施設

短期入所生活介護事業 事業計画

今年度の重点課題

1 育秀会ブランドの確立

- ① 研修や委員会、会議等で基本精神・法人理念を再確認し、多職種と共同し利用者が安心、安全、快適に過ごせるよう支援しました。また、地域の福祉拠点として、利用者が最期の時まで自分らしく、住み慣れた地域で過ごせるよう努めました。
- ② 生活相談員会議や必要に応じオンライン会議等を活用し、他施設との活発な情報の共有・連携を行い、サービスの標準化を図りました。
- ③ 施設のミッション「一人ひとりの暮らしを大切に」に沿い、職員個々で目標を掲げ、多職種と連携し、利用者のその人らしいスタイルに合わせた環境作りやケアを行いました。
- ④ ホームページを活用し、ユニットの趣味活動やイベントの様子を発信しました。

2 サービス向上に対する取り組み

- ① 利用者満足度調査では「満足」「やや満足」が8～9割以上でした。発熱や体調不良後の入居者の状況がわからない、食品の差し入れ方法がわからないといった意見が聞かれました。虐待の芽チェックリスト、ハラスメントチェックリスト、接遇チェックリストを実施し、改善に取り組みました。
- ② 法人内のレベル別研修、施設内研修の他に、職員の経験・能力に応じた外部研修に参加しました。白十字主催のオムツ研修を行い技術の向上に努めました。
- ③ 入居者の重度化や医療ニーズの高まりに対応するため、喀痰吸引等研修および口腔ケア研修を受講しました。また、認知症対応力の向上を目的に認知症ケア研修も受講し、理解を深めました。
- ④ 面会制限が緩和し、施設三大イベントである、敬老祝賀会、納涼祭、大運動会をご家族参加で開催し、外出レク等も少しずつ再開し、生活を充実できるよう支援しました。

3 経営への取り組み

- ① 【特養】年間稼働率 95.0%（前年度 96.3%）前年度比マイナス 1.3%となりました。新規入居 14 名のうち、6 名はショートステイ利用の方でした。前年度に引き続き、ショートステイから特養入居へ繋げることで、入居者、家族、職員に安心していただけることができました。
【ショートステイ】正規ベッド稼働率 88.5%、特養空ベッド利用稼働率 49.9%、総稼働率 113.6%（前年度：105.8%）特養空きベッド利用受け入れに対して職員の意識

も定着し、前年度比プラス7.8%となりました。特養では、長期入院、入院者の増加で稼働率は低下しましたが、誤嚥性肺炎での入院が多い為、歯科衛生士からの指導を受け職員、看護師の日々の観察から重度化しないよう早期発見に努めました。入居者の状況を見ながら、実態調査を重ね内定者を確保しました。

- ② ショートステイでは、新規利用者24名、うち11名が継続利用に繋がりました。居宅介護支援事業所へ利用者の状況や空き情報の提供などの連絡を密に行い、ケアマネジャーとの良好な関係性を築くことが出来ました。緊急ショートステイの要請については、迅速な対応を行い積極的な受け入れを行いました。
- ③ 協力医療機関との連携体制を構築し、新たな病院も開拓しながら、感染症発生時には早期に受診等の対応を行いました。
- ④ 感染症や災害の発生時に継続的にサービス提供できるよう業務継続計画の見直しを行いました。
- ⑤ 生産性向上委員会を中心に業務効率を上げる為、整理整頓を行い、各ユニットのキッチン用具の配置統一、記録の見直し等を行いました。

4 働きやすい職場づくり

- ① 性別、経験、国籍等問わず多様な人材、働き方を受け入れ、誰もが働きやすい環境作りに努めました。
- ② 職員面談を実施し、希望時には適宜面談を行い、悩みや要望を聞き取りノンストレスで業務に当たれるよう努めました。
- ③ 出産・育児・介護などの理由で休暇が必要な職員に対しては、個別面談を行い、休暇制度を活用しながら業務を継続できるよう支援に努めました。
- ④ 資格取得を推奨した結果、2名が介護福祉士の資格を取得しました。また、ユニットリーダー研修においては、実地研修を含めた学びを通じて2名が知識と技術を深めました。
- ⑤ 施設環境にあったICT機器やセンサー・ロボットの活用を推進し、職員の負担軽減、職場環境の改善に取り組みました。

5 地域貢献への取り組み

- ① 土支田保育園との交流会は、前年度は距離を保った形での実施となりましたが、今年度は対面で3回実施することができました。また、大泉学園中学校の3年生の職場体験も受け入れました。
- ② 土支田町会の協力を頂き地域の方2名が参加した総合防災訓練を行いました。
- ③ 地域のお祭り準備や片付け等の地域活動に参加しました。

【表1】

特養稼働表

2025年3月31日現在

	定員	利用日数	利用率
4月	1,800	1,685	93.6%
5月	1,860	1,734	93.2%
6月	1,800	1,727	95.9%
7月	1,860	1,759	94.6%
8月	1,860	1,711	92.0%
9月	1,800	1,710	95.0%
10月	1,860	1,773	95.3%
11月	1,800	1,732	96.2%
12月	1,860	1,747	93.9%
1月	1,860	1,783	95.9%
2月	1,740	1,633	93.9%
3月	1,860	1,810	97.3%
合計	21,960	20,804	平均 95.0%

(前年度平均96.3%)

【表2】

在籍状況及び理由別入退所状況

2025年3月31日現在

月	月初在籍者数	入 所					退 所							
		家庭	病院	老人保健施設	その他	計	死亡	長期入院	社会復帰	福祉施設	老人保健施設	家庭	その他	計
4月	59	0	1	0	1	2	1	0	0	0	0	0	0	1
5月	60	1	0	0	0	1	0	2	0	0	0	0	0	2
6月	59	0	0	2	0	2	1	0	0	0	0	0	0	1
7月	60	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2
8月	58	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0
9月	60	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	2
10月	59	2	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	1
11月	60	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
12月	60	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1
1月	60	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1
2月	60	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3月	60	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	2
計	715	8	1	4	1	14	8	6	0	0	0	0	0	14

○2024年度の死亡退所者は8名、内5名を苑で看取りました。

【表3】

年齢・性別一覧

2025年3月31日現在

年齢	男	女	計
65歳未満	1	0	1
65歳以上70歳未満	0	0	0
70歳以上75歳未満	1	0	1
75歳以上80歳未満	0	0	0
80歳以上85歳未満	1	8	9
85歳以上90歳未満	0	16	16
90歳以上95歳未満	3	16	19
95歳以上100歳未満	1	11	12
100歳以上	1	0	1
計	8	51	59
平均年齢	86.12	90.01	88.06
	(85.1)	(89.67)	(88.89)

○最高齢101歳・最年少60歳

()内は前年度

【表4】

要介護度構成

2025年3月31日現在

2024年3月31日現在		2025年3月31日現在	
要介護度 1	0	要介護度 1	0
要介護度 2	0	要介護度 2	0
要介護度 3	12	要介護度 3	14
要介護度 4	34	要介護度 4	35
要介護度 5	13	要介護度 5	10
計	59	計	59
平均	4.02	平均	3.93

【表5】

在所期間

2025年3月31日現在

	男	女	計
1年未満	1	12	13
1年以上2年未満	1	9	10
2年以上3年未満	1	10	11
3年以上4年未満	3	6	9
4年以上5年未満	1	5	6
5年以上6年未満	1	3	4
6年以上7年未満	0	0	0
7年以上8年未満	0	3	3
8年以上9年未満	0	1	1
9年以上10年未満	0	1	1
10年以上	0	1	1
計	8	51	59

○平均在所期間は、3年7か月です。

【表6】

＜身辺自立状況＞
日常生活動作等の状況

2025年3月31日現在

入所者の 日常動作等 の状況		一部介助	全介助	備 考
	移動介助	33 人 (18人)	17 人 (16人)	一部:歩行補助具を使用したり、一部介助すれば移動できる。 全部:自力では補助具を使用できないので全て介助を要する。
	食事介助	6 人 (15人)	8 人 (8人)	一部:スプーン等を使用し、一部介助すれば食事できる。 全部:全部介助しないと自分では食べられない。
	排泄介助	48 人 (31人)	11 人 (13人)	一部:介助があれば簡易便器及びトイレを使用し排泄できる。 全部:常時オムツを使用している。
	着脱衣介助	45 人 (34人)	14 人 (10人)	一部:手を貸せば、着脱できる。 全部:自力ではできないので全て介助を要する。
	入浴介助	41 人 (41人)	18 人 (18人)	一部:身体を洗う時や浴槽の出入りに介助を要する。 全部:自力ではできないので全て介助を要する。
	車椅子使用者数	42人 (40人)		自走:人(11人)、一部介助:人(12人)、全介助:人(19人)
	認知症	38人 (40人)		認知症とは判断力、理解力の低下に伴い、記憶又は見当識障害が継続すると認められる者をいう。

※ ()内は前年度の数字

【表7】

＜事故・ヒヤリハット報告＞

計572件 (623件)	293件 (360件)	・ヒヤリハット報告(見逃せば事故につながった可能性が強いもの)
	279件 (263件)	・事故報告(行政への報告義務がなく、苑内対応で済んだもの)

事故報告内容	(件数)
保険者に報告した骨折、入院	1 (3)
転倒・転落・滑落	89 (68)
外傷	117 (82)
異食	13 (5)
誤嚥	4 (1)
誤薬	5 (6)
その他	51 (101)
計	280 (266)

※ ()内は前年度の数字

【表 8】

＜入所者ならびに職員の健康診断状況＞

(ア) 入所者

2025年3月31日現在

	人 数	検 査 内 容
入所者の誕生日検診 実人数	58名	胸部X-P・心電図・採血・尿検査
臨時検査（体調不良時など 延人数	71名	採血・尿検査

(イ) 職員

	人 数	対象者	検 査 内 容
10 月	64名	職員全員	問診・内科検診・聴力・胸部X-P 心電図・身長・体重・血圧・検便 希望者は胃透視
10 月	43名	介護者	腰痛健診（問診含む）
4 月	45名	介護者	腰痛健診（問診含む）
3 月	27名	夜勤者	採血・検尿・血圧・身長・体重

(ウ) インフルエンザの予防接種

入所者	延人数	59名
職 員	延人数	76名

(エ) 新型コロナウイルスワクチン接種

利用者	延人数	31名
職 員	延人数	0名

【表9】

<療養食>

2025年3月31日現在

対象者なし

【表10】

<行事食>

・行事食実施回数 年30回

2025年3月31日現在

月	日	行事名	内 容
4	8	花祭り	三色おにぎり、さわらの木の芽焼き、炊き合わせ、若竹汁
5	5	端午の節句	ちまき風炊き込みご飯、ぶりの甘辛ごまだれ焼き、若竹煮、メロンムース
	13	母の日	菜飯ご飯、魚の塩焼き、里芋の煮物、めかぶの和え物、牛乳
6	13	あじさい献立	散らし寿司、具沢山汁、厚揚げと白菜の煮物、あじさいゼリー
7	7	七夕	七夕そうめん、夏野菜のミニ天ぷら、トマトサラダ、フルーツ
	21	納涼祭	ソース焼きそば、じゃがバター、チョコバナナ
8	13	お盆入り	おいなりさん・甘酢生巻、ブリの薬味ソース、いとこ煮、白菜のピーナッツ和え、フルーツ
	28	夏バテ元気メニュー	きのこご飯、アジの南蛮漬、茶碗蒸し、トマトサラダ、オレンジ
9	16	敬老の日	赤飯（栗）、天ぷら、焼き物、炊き合わせ、酢の物、吸い取り、フルーツ
	17	十五夜	月見うどん、里芋の田楽、エブリッチ（ぶどう）
10	16	秋の味覚	さつまいもご飯、沢煮鮎、サンマの塩焼き、フルーツ
	22	土用の丑の日	うなぎちらし、山菜の煮物、白菜のゆず和え
	31	ハロウィン	クロワッサン、エビマカロニグラタン、シーザーサラダ、かぼちゃパバロア
11	22	非常食	五目雑炊、豚肉のニンニク炒め、じゃがいもの煮つけ、中華和え、エブリッチ
	23	福岡県郷土料理	米飯、がめ煮、なすの生姜炒め、あちやら漬け風、パイン缶
	27	お寿司	お寿司5種（マグロ、サーモン、ネギトロ、かんぱち、いくら） 厚焼き玉子、具たくさん味噌汁、根菜の煮物、甘酢生巻
12	4	冬のあったか献立	五目ご飯、おでん、ほうれん草のお浸し、りんご
	21	冬至	ご飯、鮭のちゃんちゃん焼き、かぼちゃのいとこ煮、大根のゆず和え、みかん缶
	24	クリスマス	クロワッサン、ミネストローネ、グラタン、コールスローサラダ
	25		ピラフ、ミートローフ、ほうれん草とコーンのサラダ、ケーキ2種（いちごショート、ショコラ）
	31	年越しそば	年越しそば、天ぷら、なめこおろし、みかん
1	1	正月祝膳	赤飯、お吸い物、焼き物、盛り合わせ、炊き合わせ、紅白なます ごはん、松風焼、かぶの煮物、ひじきサラダ
	2	正月	年明けうどん、治部煮、人参の白和え、フルーツカクテル缶
	7	七草	七草粥、もやしとツナの炒め物、白菜ときゅうりの酢の物、しば漬
	11	鏡開き	ご飯、鶏肉の胡麻照り焼き、五目炒め、カリフラワーのゆかり和え、お汁粉
2	3	節分	いなり寿司、いわしの梅煮、すまし汁、五目豆炒め、ようかん
	14	バレンタイン	バターロール、鮭と白菜のクリームシチュー、ブロッコリーのドレ和え、ジャム、ストロベリーパバロア
3	3	ひな祭り	押し寿司、ほうれん草のお浸し、筑前煮、ひな祭りゼリー
	14	ホワイトデー	チキンライスホワイトソースがけ、海藻サラダ、コンソメスープ、ショコラケーキ

その他

- ・栄養ケア・マネジメント実施
- ・経口摂取維持のための多職種会議実施（週1回）

【表11】

<家族との連携状況>

(1) 月別の面会状況

2024年度

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数	36	80	83	85	63	96	119	131	99	112	51	118

計 1073人 月平均 89.4人

(2) 外泊の状況について

○ 外泊者はいませんでした。

(3) 家族との連絡

○ 家族懇談会 ⇒ 4/20(日)実施

○ 定期的に連絡 ⇒ 月1回(請求書送付時に利用者の状況報告・趣味活動等の予定表を送付)

○ 介護保険に関する連絡 ⇒ 書面、個別対応

○ 利用者の健康状態などについての連絡 ⇒ 随時

○ ケアプラン、栄養ケア計画書、個別機能訓練計画書等の承認 ⇒ 随時

【表12】

<実習生の受け入れ状況>

2025年3月31日現在

受け入れ校等	実習目的	実人数	実習延日数	備考
大泉学園中学校	職場体験	5人	9日	
日本社会事業大学	介護福祉士取得	2人	40日	
十文字学園女子大学	社会福祉士取得	3人	30日	
計		10人	79日	

<地域との連携(社会資源)及び、ボランティア活動>

2025年3月31日現在

名 称	活 動 内 容	延人数	費用弁償の有無
書道ボランティア	書道教室の手伝い	0人	無
土支田保育園	訪問交流	80人	無
個人ボランティア	納涼祭ゆかた着付け	1人	無
ウクレレ	演奏、フラダンス	20人	無

<地域社会への貢献等>

2025年3月31日現在

名 称	活 動 内 容	開催数	参加延人数
なないろカフェ	レンジカフェ(認知症の予防および啓発)	7回	152人
第3育秀苑こども食堂	食事提供と余暇活動	3回	52人

【表13】

<クラブ(サークル)参加状況>

2025年3月31日現在

	平均参加人数	指 導 者	指導補助者	回 数
書道	2~4人/回	職員	有	中止
フラワー	中止	ボランティア	有	中止
ピアノ	中止	ボランティア	有	中止
体操	月50人	機能訓練指導員	有	週1回
いきいき美容室	中止	資生堂美容部員	有	中止

【表14】

2024年度 年間行事実施状況

月	日	曜日	行 事 名	内 容
4	1～30		お花見	ユニットごとにリビングで飾りつけをしたり、施設周辺で外気浴を行い、季節感を感じて頂きました。
5	2～5		菖蒲湯	湯船に菖蒲を浮かべ、香りを楽しみながら菖蒲湯を楽しんで頂きました。
7	21	日	納涼祭	コロコロ玉転がし等の縁日ゲームや綿あめやたこ焼き等、縁日の雰囲気を楽しんでいただきました。
8	10・15・16		スイカ割り	フロアごとにスイカ割りを皆様で楽しんだ後、一緒にスイカを食べて頂きました。
9	15	日	敬老祝賀会	ウクレレ演奏を楽しんでいただいたり、傘寿・米寿・卒寿・白寿のお祝いをしました。練り切りも皆さんでいただきました。
11	16	土	大運動会	競技では中玉送りやシートで玉落としを行いました。利用者様のとても良い表情を見ることができました。
12	24・25		クリスマス会	フロアごとにクリスマスソングを聞いたり、クリスマスプレゼント、ケーキを用意し楽しんで頂きました。
	21～24		(冬至)ゆず湯	湯船に大きな柚子を浮かべ、色や香りを感じて頂きながらゆず湯を楽しんで頂きました。
1	10～12		鏡開き	ユニットごとにやわらかもちでおしるこを作り、無病息災を願いました。
	1～7		新年会	各フロアに手作り神社を設置し、おみくじを引いて、新しい1年を元気に健康で過ごせるようお参りました。
2	3～5		節分行事	各フロアで、鬼に扮した職員に豆をまき、皆で無病息災を願いました。甘納豆や甘酒を召し上がりました。
	9	日	映画観賞会	映画や歌謡祭をプロジェクターでスクリーンに映し出し、映画館の雰囲気味わって頂きました。
3	3～5		桃の節句	フロアごとにひなあられや甘酒を召し上がり、季節感を味わって頂きました。

通 年	誕生会	各誕生日	各フロアで色紙などを用意し、誕生日をお祝いしました。
	保育園との交流会	7月・9月・12月	土支田保育園園児の歌やダンスの披露、手作りプレゼントの交換をしました。
	被服販売会	都度	個別対応。
	児童館との交流会	都度	未実施。
	家族交流会	3月	5年ぶりに家族を招待しました。ゲームを楽しんだり、プロジェクターで思い出の写真を観て1念を振り返ったり、楽しい時間を過ごしました。

【表 1 5】

ショートステイ稼働表

	ショートベッド			空きベッド利用可能日数			新規 利用者数
	枠	利用日数	利用率	利用可能 日数	利用数	利用 率	
4 月	180	134	74.4%	115	98	85.2%	3
5 月	186	157	84.4%	126	28	22.2%	3
6 月	180	172	96.7%	73	18	24.7%	4
7 月	186	174	95.2%	101	60	59.4%	1
8 月	186	172	92.5%	149	70	47.0%	3
9 月	180	168	93.3%	90	24	26.7%	1
10 月	186	155	83.3%	87	51	58.6%	1
11 月	180	138	76.7%	68	43	63.2%	2
12 月	186	150	80.6%	113	35	31.0%	3
1 月	186	168	90.3%	77	58	75.3%	1
2 月	168	166	98.8%	47	42	89.4%	2
3 月	186	185	99.5%	52	21	40.4%	0
合計	2,190	1939	88.5%	1098	548	49.9%	24 名
	(前年度 92.8%)			(前年度 35.0%)			

【表 1 6】

ショートステイ利用者要介護度

(単位:人)

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
4 月	0	0	31	78	18	97	8	232
5 月	0	0	26	69	13	67	10	185
6 月	0	2	21	65	13	82	7	190
7 月	0	4	35	83	6	77	29	234
8 月	3	5	39	24	24	108	39	242
9 月	0	0	17	39	20	73	30	179
10 月	0	0	15	75	27	82	7	206
11 月	0	0	34	48	26	62	11	181
12 月	0	0	52	25	40	57	7	181
1 月	0	0	35	52	81	51	7	226
2 月	3	0	9	35	118	33	10	208
3 月	0	0	8	17	117	51	13	206
合計	6	11	322	610	503	840	178	2470
	0.2%	0.4%	13.0%	24.7%	20.4%	34.1%	7.2%	100%

2024年度

第3 育秀苑認知症対応型通所介護事業 事業報告

2024年度の重点課題

1 育秀会ブランドの確立

- ① 基本精神・法人理念を毎朝のミーティングで唱和、ミッションの確認を行い、利用者に寄り添い一人ひとりの人権を尊重した利用者本位の介護を行いました。
- ② 施設のミッション「一人ひとりの暮らしを大切に」を職員一人ひとりが個人目標を定め具体的に取り組み、新規の利用者も溶け込みやすい雰囲気づくりを行いました。
- ③ 行事・活動内容等をホームページに掲載し、パンフレットを配布する事で居宅介護支援事業所に認知症対応型通所介護の内容を知って頂くように努めました。毎月デイサービスセンターだより「マンスリーレインボー」を利用者家族に配布し事業所の活動を発信しました。
- ④ 積極的に見学や受け入れを行いました。受け入れ後はわずかな状態の変化でもケアマネジャーや家族と情報の共有を行なうと共に、利用者や家族への相談助言を行い認知症高齢者が住み慣れた地域で生活を継続できるよう努めました。

2 サービス向上に対する取り組み

- ① 接遇チェックシート、虐待の芽チェックリスト、ハラスメントチェックを実施する事により、職員一人ひとりが日常を振り返り適切な対応に取り組みました。利用者満足度調査においては「満足」「やや満足」が93%でした。
- ② デイサービス内で介護技術の研修を行い技術の向上を図ると共に、ケア会議等を通じてケアの統一を行いました。
- ③ 利用者が使用する椅子などの定期点検を行うと共に、物品の配置変更や整理整頓を行い、利用者が安心安全に過ごせるように取り組みました。
- ④ 高齢者虐待防止、身体拘束等適正化委員会に参加し、会議内容を職員に周知しました。

3 経営への取り組み

- ① 家庭内感染の報告を受けた際に、デイサービス職員、利用者の体調の変化に留意し、感染拡大防止に努めました。
- ② 利用登録者数40名、稼働率70%の目標に対して、令和6年度末時点で利用登録者数34名、平均利用者数11.1名、稼働率は46.4%に留まり、目標達成は出来ませんでした。終了者20名に対して新規利用者が22名と前年度末登録者数より2名増加しました。
- ③ 法人研究発表では、稼働率向上に関する取り組みを発表し、事業所全体で稼働率への意識が高まりました。その後もデイケア会議において継続的に議論を重ね、日常のケアに活かすきっかけとなりました。なお、現時点では稼働率の実質的な向上に

は至っていません。今後は、認知症ケアの質のさらなる向上を目指し、研修への参加や情報の共有方法についても継続的に検討・改善を進めます。

- ④ 今年度は特に、送迎時の残業削減に重点を置き、業務の見直しと人員配置の工夫により、効率的な事業運営に努めました。
- ⑤ 感染症や災害の発生時に継続的にサービス提供できるよう業務継続計画の更新を行いました。

4 働きやすい職場づくり

- ① ボランティアや中抜けのドライバー等の多様な働き方を受け入れた事で、職員が利用者対応に集中できるようになり、職員個々の経験や能力に合わせた育成を行う事が出来ました。
- ② 職員間のコミュニケーションを円滑にし、職員が働きやすい職場作りに努めました。
- ③ 外部研修の情報を発信し、勤務体制を整え受講しやすい環境作りを行いました。

5 地域貢献への取り組み

- ① 「運営推進会議」を9月、3月に開催し、民生委員やケアマネジャー等に参加して頂き、活動内容についてご理解頂きご意見ご助言を聴く機会を設けることができました。
- ② 地域住民を対象とする「介護学べるサロン」を8月、2月に開催しました。8月は家庭で出来る体操、2月はデイサービスで行っているレクリエーション紹介を実施しました。参加者との懇談の中で介護に対する相談助言を行いました。
- ③ 地域包括支援センターと連携を行い、オレンジカフェ「なないろカフェ」を9月より開催する事が出来ました。参加者も徐々に増え30名程度の方が参加いただけるようになりました。
- ④ 中学生の職場体験の受け入れを行いました。また旭町第2保育園との交流会は10月に行い、ハロウィンのレクリエーションを行いました。
- ⑤ 介護福祉士、社会福祉士等の実習生を受け入れ、福祉人材の育成に努めました。
- ⑥ 施設内防災訓練に参加し、利用者が建物外に避難し地域住民の方に見守って頂くなど、コミュニケーションを図りながら実施することができました。

2024 年度新規及び平均利用者数【表 1】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
開所日数	26	27	25	26	27	25	27	26	24	24	24	26	308
延べ利用者数	271	287	254	307	318	280	295	291	293	268	261	303	3428
平均利用者数	10.4	10.6	10.2	11.4	11.8	11.2	10.9	11.2	12.2	11.2	10.9	11.7	11.1
新規利用者数	2	2	4	1	2	2	1	1	4	0	1	2	22
終了者	2	1	1	2	2	3	1	0	0	3	2	3	20
SPOT 利用者数	3	1	4	3	7	3	1	1	0	2	0	0	25
稼働率	43.4	44.3	42.3	47.4	49.1	46.7	45.5	46.6	50.9	46.5	45.3	48.6	46.4

(前年度平均稼働率 45.3%)

時間帯別延べ利用者数【表 2】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	時間帯別比率
3 時間-4 時間	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0.06%
4 時間-5 時間	2	1	0	10	18	14	17	16	13	12	14	14	131	3.82%
5 時間-6 時間	94	107	91	105	104	90	104	92	107	98	92	112	1196	34.8%
6 時間-7 時間	118	105	117	133	138	122	129	131	122	119	125	132	1491	43.4%
7 時間-8 時間	57	73	46	59	58	54	45	55	51	39	30	45	612	17.8%
8 時間-9 時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
9 時間-10 時間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
延べ利用者数	271	287	254	307	318	280	295	295	293	268	261	303	3432	100%

介護度別利用者数【表 3】

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	計	介護度別比率
要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0%
要介護 1	12	11	11	12	13	14	14	13	14	12	11	10	147	36.2%
要介護 2	5	4	4	4	6	6	5	5	5	5	5	7	61	15.0%
要介護 3	8	7	8	10	8	7	6	6	7	8	7	7	89	21.9%
要介護 4	3	2	1	1	2	1	1	2	2	1	1	1	18	4.4%
要介護 5	5	7	7	8	7	7	7	7	8	9	9	10	91	22.4%
合計	33	31	31	35	36	35	33	33	36	35	33	35	406	100%

(平均介護度 2.6)

利用者 年齢構成【表 4】

年齢	男性 (名)	女性 (名)	合計 (名)	利用者年齢構成比率
90 歳以上	2	5	7	20.5%
85 歳以上 89 歳以下	6	8	14	41.1%
80 歳以上 84 歳以下	4	4	8	23.5%
75 歳以上 79 歳以下	0	1	1	3.0%
70 歳以上 74 歳以下	1	0	1	3.0%
66 歳以上 69 歳以下	0	2	2	5.9%
64 歳以下	1	0	1	3.0%
合計	14	20	34	100%

(平均年齢 84 才)

2024年度

第3 育秀苑訪問介護事業 事業報告

2024年度の重点課題

1 育秀会ブランドの確立

- ① 基本精神・法人理念をヘルパー研修で周知し、住み慣れた我が家で安心して過ごしていただけるよう、利用者の持っている力を活かしたサービス提供を心がけました。
- ② 年2回の合同サービス提供責任者会議を活用し、情報交換を行い法人内の共通認識を深めました。
- ③ 施設のミッション「一人ひとりの暮らしを大切に」を念頭に、職員の一人一人が個人目標を定め、ミッション遂行に取り組みました。

2 サービス向上に対する取り組み

- ① 利用者満足度調査、接遇チェックシート、虐待の芽チェックリスト、ハラスメントチェックを年1回以上実施することにより、サービス向上への意識を高めることができました。利用者満足度調査において、「満足」「やや満足」が85%でした。
- ② サービス提供責任者定例会議という形では開催できませんでしたが、サービス提供責任者が3人揃う時に利用者情報の共有と意見交換を行いました。
- ③ ヘルパー研修や苑内研修の参加を呼びかけ、緊急時の対応、認知症ケア等の座学の研修に加え、介護技術の研修を行いました。
- ④ 利用者の尊厳を尊重し、ケアマネジャーや家族と連携を図り、サービス提供責任者間でも話し合い、必要に応じ支援内容を見直し、利用者の残存機能を少しでも維持できるよう自立支援、重度化防止に取り組みました。
- ⑤ 事故防止対策委員会主催の研修に参加すると共に、事故発生時には迅速に対応し、居宅介護支援事業所、地域包括支援センターと連携し適切な対応が取れるように努めました。

3 経営への取り組み

- ① 毎月新規3件の利用者数増を目指しましたが、年間で新規18件、利用者数80人弱に留まりました。
- ② 危険リスク未然防止の為、事故報告をヘルパー研修時、または「ヘルパー通信」に発行し周知しました。
- ③ 登録ヘルパー増員のため、合同就職相談会、面接会に参加しました。結果5名の増員がありましたが、退職者も5名おり、令和7年3月末は15名となりました。
- ④ 未経験のヘルパーに向けて「訪問介護の手引き」を活用し、同行訪問の時間を増やし、技術の向上を図ると共に、新規サービスを受けられる体制を整えました。
- ⑤ 感染症や災害の発生時に備え、積極的に委員会に参加し業務継続計画の更新を行い

ました。

- ⑥ 特定事業所加算の算定要件を満たすことはできませんでしたが、研修計画等に取り組みました。

4 働きやすい職場づくり

- ① ヘルパーと積極的にコミュニケーションをとることで、ワークライフバランスの把握やサービス内容についても相談しやすい関係性を築き、ヘルパーが働きやすい職場づくりに努めました。サービス提供責任者間では朝の申し送りを通じ情報共有し、気軽に相談・報告を行うことができました。
- ② ヘルパーの適性を把握し、適材適所を心掛けた人員配置を行いました。
- ③ ヘルパー研修時に資格取得についての情報提供やアドバイスを行い、今年度は介護福祉士 1 名、介護支援専門員 1 名の合格に繋がりました。

5 地域貢献への取り組み

- ① 介護福祉士の実習生を受け入れ、介護人材育成に努めました。
- ② 練馬区介護予防・日常生活支援総合事業の介護スタッフ研修終了者を 4 名受け入れ、初任者研修、実務者研修等の取得に向けてサービスに従事しています。
- ③ 防災委員会に参加し、施設で行う防災訓練を地域住民の方と共に参加しました。

【表1】

登録者利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
派遣数	88	88	87	84	82	82	83	82	81	80	77	77	991 (1,134)	83 (96)
新規契約	4	1	2	2	0	1	1	2	2	2	0	1	18 (18)	2 (2)
入院	2	1	1	3	5	7	3	3	3	2	4	2	36 (36)	3 (3)
終了	0	0	3	1	2	1	0	3	3	3	3	1	20 (28)	2 (2)
派遣時間	516.4	558.1	497.5	539.0	477.5	450.2	494.2	481.5	457.2	442.2	396.6	432.4	5,742.8 (6,525.5)	479 (544)

()内は昨年度

【表2】

サービス種別状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年平均	昨年度
生活援助	27.8%	27.7%	25.0%	22.7%	20.7%	20.5%	22.3%	22.4%	20.9%	17.5%	18.1%	20.2%	22.2%	29.1%
身体介護	28.9%	26.0%	29.7%	27.2%	28.0%	26.7%	25.0%	24.9%	25.6%	25.2%	27.2%	28.3%	26.9%	27.6%
身体生活	16.4%	15.2%	16.4%	19.2%	18.3%	21.4%	22.7%	24.2%	24.2%	27.4%	26.0%	25.4%	21.4%	16.7%
総合事業	26.9%	28.9%	28.9%	30.9%	33.0%	31.4%	30.1%	28.5%	29.2%	29.8%	28.7%	26.1%	29.4%	26.6%

【表3】

介護度分布

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	昨年度
事業対象者	6	6	5	5	4	4	5	6	6	6	5	5	63	86
要支援1	14	15	15	14	14	15	15	16	17	16	13	11	175	146
要支援2	13	13	15	16	16	14	12	10	10	11	12	12	154	212
要介護1	11	11	10	11	10	11	11	11	11	12	8	10	127	165
要介護2	19	18	17	15	16	15	16	17	16	16	14	16	195	217
要介護3	9	9	9	10	8	6	7	7	7	8	7	7	94	121
要介護4	5	6	6	5	5	5	4	6	4	5	5	5	61	66
要介護5	4	4	4	3	2	4	3	2	2	2	2	2	34	50
合 計	81	82	81	79	75	74	73	75	73	76	66	68	903	1,063

2024年度

第3 育秀苑居宅介護支援事業 事業報告

2024年度の重点課題

1 育秀会ブランドの確立

- ① 基本精神・法人理念を基に、地域包括ケアシステムの構築に向けて利用者がその人らしい暮らしを実現できるよう、介護家族支援、地域の社会資源の活用、医療介護専用コミュニケーションツールを活用しチームケアの強化に取り組みました。
- ② 施設のミッション「一人ひとりの暮らしを大切に」の遂行に向けて、丁寧に意思表示や自己決定を支援し、楽しみのある幸せな生活を実現できるようケアマネジメントを実施しました。

2 サービス向上に対する取り組み

- ① 利用者およびその家族が、生活の習慣やこだわりなどを保ち暮らし続けることができるように、必要な情報提供と本人による自己決定を支援しました。
- ② 外部研修に参加し、自己研鑽を積み専門職としての技術向上を図り、経験値を高めました。今年度練馬区の運営指導がありましたが、取り組みを評価していただく総評をいただき、大きな指摘事項はありませんでした。
- ③ 利用者満足度調査、接遇チェックシート、虐待の芽チェックリスト、ハラスメントチェックリストを実施し、改善に取り組みました。

3 経営への取り組み

- ① 事業所の人員体制に変更があったため、まずは現行の利用者への支援の維持に注力しました。そのため、新規の相談を積極的に受け入れることはできませんでしたが、一人当たりの担当件数は確保することができました。
- ② 訪問のスケジュール調整、関係機関との連絡調整など業務の見直し、業務改善に努めました。
- ③ ケアプランデータ連携システムは、近隣事業所の実施状況および補助金の申請を考慮して、今年度の導入は見合わせました。
- ④ 人員体制は3人体制を維持する事ができず、特定事業所加算の算定要件を満たすことができない時期がありました。事例検討会・研修への参加は計画通り実施できました。
- ⑤ 高齢者虐待防止、身体拘束等の適正化の推進は、研修に参加することで実施できました。
- ⑥ 感染症や災害の発生時に継続的にサービス提供できるよう業務継続計画の更新を行いました。

4 働きやすい職場づくり

- ① 朝礼や週 1 回の定例会議にて、困難事例やケアプラン見直しが必要なケースについて、ケアマネジメントの不安・悩み等を共有し、制度や地域資源の情報提供、支援方針の検討等を行いました。
- ② 職員向け課題把握シートを活用する事はできませんでした。

5 地域貢献への取り組み

- ① 地域ケアセンター会議、認知症デイ運営推進会議、圏域内の多職種・他法人との勉強会などの参加を通して、地域の特性や課題の把握に努め連携を深めました。
- ② 圏域の居宅介護支援事業所と事例検討会 1 回を実施しました。

要介護度別利用者数

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合 計
要支援	14	15	15	13	12	12	12	13	13	8	7	7	141 (154)
要介護 1	25	25	22	24	24	25	25	24	23	22	19	19	277
要介護 2	32	31	30	31	30	28	27	25	24	23	22	26	329
要介護 3	13	13	13	14	12	12	14	14	12	14	15	12	158
要介護 4	5	4	7	7	6	5	7	3	3	8	6	5	66
要介護 5	4	3	4	3	3	3	3	2	4	3	5	4	41
介護合計	79 (86)	76 (90)	76 (86)	79 (83)	75 (70)	73 (89)	76 (86)	68 (83)	66 (85)	70 (90)	67 (86)	66 (84)	871 (1,027)

※ ()内は前年度の数字

2 0 2 4 年 度 事 業 報 告

練馬区委託事業

2024年度

練馬区委託事業地域包括支援センター事業報告

(桜台・第2育秀苑・第3育秀苑)

1. 事業運営の基本方針

練馬区地域包括支援センターは、練馬区高齢者保険福祉計画に基づき、高齢者が地域で自立した生活を営めるよう、介護・医療・予防・住まい・生活支援サービスが切れ目なく提供される「地域包括ケアシステム」を実現するように高齢者支援を行いました。各種の保健・医療・福祉サービスが総合的に受けられるように、練馬区等の関係行政機関、サービス実施機関等と連携・連絡調整等を取り、区民の方が安心して暮らしていけるように支援しました。その結果を報告します。

【表1】担当地域

名 称	担当区域
桜台地域包括支援センター	桜台
第2育秀苑地域包括支援センター	旭丘、小竹町、羽沢、栄町
第3育秀苑地域包括支援センター	土支田、高松6丁目

2. 主たる事業内容

1) 総合相談業務

①総合相談業務

地域の身近な相談窓口としての機能を果たすために、町会や民生委員、医療機関やサービス事業所への周知活動を行いました。また、介護に関する相談だけでなく、保健医療や福祉、生活に関することなど多様なニーズや相談を総合的に受け止め、必要な情報提供、多様な社会資源を有機的に結び付ける包括的な支援を行ってきました。

【表2】相談内容 総合相談件数実績 (単位：件)

相談内容別件数									
	施設	在宅福祉サービス	経済的事項	家庭的事項	住宅	介護保険	介護予防	その他	合計
桜台	185	583	143	197	46	1,774	3,655	251	6,834
第2育秀苑	91	262	121	186	17	1,217	3,540	1,484	6,918
第3育秀苑	145	84	83	112	101	838	2,463	954	4,780

【表 3】相談手段別 総合相談件数実績（単位：件）

相談手段別件数					
	訪問	来所	電話	その他	合計
桜台	1,791	589	4,448	6	6,834
第2育秀苑	1,935	324	4,657	2	6,918
第3育秀苑	1,266	313	3,200	1	4,780

②地域におけるネットワーク構築

【表 4】ネットワーク構築の為の活動

活動内容	
桜台	民生・児童委員との連絡会に出席(1回/月) 地域別民生委員との情報交換会(3回/年) 練馬区地域生活支援サービスの充実に関する協議体への参加(2回/年) 桜台地区祭への参加 開第三小学校避難拠点運営連絡会へ参加 開進第三小学校避難拠点実践力向上訓練へ参加 練馬圏域内の介護支援専門員支援のための研修開催 (年5回・参集形式) ※7 包括合同 桜台ハイム いきいき健康体操(月1回) 地域密着型運営推進会議 ※そんぽの家 桜台(グループホーム) ×6回 地域密着型運営推進会議 ※リハビリデイサービス nagomi 桜台 ×2回 地域密着型運営推進会議 ※ニチイケアセンター練馬さくら台 ×6回
第2育秀苑	地域民生委員との情報共有会(1回/年) 民生・児童委員連絡協議会(20回/年) ※2か所に参加。各場所10回/年 開進第四小学校避難拠点連絡会(4回/年) 羽沢町会防災訓練(1回/年) 桜台地区祭(1回/年) ※社会福祉法人ネットと合同参加 介護保険制度説明会(1回/年) ※練馬区介護保険課、小竹図書館合同開催 練馬基本地区内の介護支援専門員為の研修開催サポート(研修4回/年、準備12回/年) ※7 包括合同 介護支援専門員向け ACP 勉強会(3回/年) ※くらしケアクリニックと開催 小竹町会情報部会(4回/年) 燦の会(8回/年) ※旭丘パークマンション自治会開催 楽集会(10回/年) ※小竹町会主催の介護予防教室 地域住民向け講座(1回/年) ※小竹図書館(ほうっておくと怖い高血圧) 認知症サポーター養成講座(2回/年) ※栄町敬老館、小竹図書館 よろず相談会(4回/年) ※栄町敬老館 小竹介護家族の会(12回/年) ※認知症介護家族会 ホワイエえこだ(6回/年)

	出張相談会（1回/年）※ヴィレッジ新桜台 在宅療養後日上映会（2回/年）※小竹図書館 在宅療養推進協議会（1回/年） 地域密着型運営推進会議 ※ゆりの花羽沢（4回/年） 地域密着型運営推進会議 ※ゆりの花旭丘（4回/年）
第3育秀苑	地域民生委員との情報連絡会（1回/年） 豊浜小学校避難拠点連絡会・防災訓練（4回/年） 八坂中学校避難拠点連絡会・防災訓練（2回/年） 北原小学校避難拠点連絡会・防災訓練（2回/年） 橋戸小学校避難拠点連絡会・防災訓練（1回/年） 第5地区祭（1回/年） 光が丘地区祭（1回/年）※社会福祉法人等ネット光が丘地区 光が丘圏域内の介護支援専門員のための研修企画、及び研修開催サポート（研修1回/準備8回） いきいき楽々会（20回/年）自主活動支援 地域密着事業所運営推進会議 ※せらび練馬小規模多機能（4回/年） 地域密着事業所運営推進会議 ※くらしさ練馬看護多機能（1回/年） 地域密着事業所運営推進会議 ※第3育秀苑デイサービスレインボー（2回/年）

③安否確認

【表5】通報・安否確認件数実績

通報者	介護事業者、金融機関、 医療機関等	地域住民、自治会、 コンビニ等	安否確認 合計
桜台	0	4	4
第2育秀苑	2	1	3
第3育秀苑	2	1	3

2) 権利擁護事業

①高齢者虐待への対応

地域住民や民生委員、介護支援専門員だけでは解決できない困難事例や高齢者虐待、消費者被害の早期発見および地域住民からの相談の対応を行いました。区が開催するコア会議に出席し、虐待の有無の判定及び支援方針の決定と対応を行いました。

②成年後見制度の利用支援

成年後見制度、地域福祉権利擁護事業など、適切な制度が活用できるよう練馬区および社会福祉協議会と連携し、援助を行いました。

年6回、成年後見検討支援会議へ参加し、多職種と共に事例検討を行い、より良い支援に繋がる様に活動して参りました。

③消費者被害の防止

地域住民対象の勉強会、消費生活支援センターへの相談、助言を受けるなど被害防止の取り組みと、関係機関への周知活動・継続的な見守りを行いました。

④終活に関するイベントの企画から参画し相談を行いました。(第3育秀苑)

【表6】権利擁護実績(単位:件)

権利擁護支援対応件数					
項目	虐待	成年後見	消費者被害	その他	合計
桜台	55	63	16	19	153
第2育秀苑	147	141	0	36	324
第3育秀苑	163	38	2	37	240

3) 包括的・総合的ケアマネジメント事業

地域の高齢者が住み慣れた地域で暮らすことができるよう支援をするために、主治医や関係機関、介護支援専門員等との連携に努めた他、病院から在宅へ、サービスが途切れることなく利用できるよう、病院・薬局等の医療機関や介護支援専門員、サービス事業者等との調整を行いました。また、常に情報収集を行い、地域の介護支援専門員や民生委員との関係作りに努めました。

介護支援専門員については、個々の高齢者の状況に応じ、適切かつ継続的なサービスが提供される調整を担えるよう、介護支援専門員の資質の向上となることを意識した支援を行いました。また、困難事例については居宅介護支援事業所と緊密な連携を図り、より適切にかつ迅速な対応を目指し、介護支援専門員の後方支援を行いました。

【表7】包括的・継続的ケアマネジメント支援実績(単位:件)

包括的・継続的ケアマネジメント支援実績件数						
	連絡会の開催	プラン指導	サービス担当者会議開催支援	個別指導相談対応	その他	合計
桜台	13	0	8	101	11	133
第2育秀苑	12	2	5	84	7	110
第3育秀苑	12	7	9	141	99	268

4) 在宅医療介護連携の推進

医療・介護推進員を1名配置し医療と介護の相談窓口を設置しました。

地域の有床病院の医療相談員との連携、地域の病院や医院とつながりを築き、高齢者が必要とする医療が受けられるよう、寄り添いながら支援を行いました。

【表8】医療・在宅療養相談件数実績(単位:件)

相談手段別件数					
	訪問	来所	電話	その他	合計
桜台	23	17	258	2	300
第2育秀苑	35	8	149	2	194
第3育秀苑	46	20	284	2	352

【表 9】医療・在宅療養相談内容 総合相談件数内訳（単位：件）

相談者				相談内容				相談内容の連絡先			
項目	桜台	第2	第3	項目	桜台	第2	第3	項目	桜台	第2	第3
本人・家族	35	85	169	受診に関する相談	34	52	91	解決	78	60	96
ケアマネジャー	6	11	18	入院に関する相談	68	39	52	新規紹介	43	32	29
病院	237	66	101	退院に関する相談	84	10	45	かかりつけ医	5	23	59
診療所	6	22	31	退院カンファレンスの参加	34	12	9	ケアマネジャー	33	25	19
介護サービス事業者	2	4	6	介護サービス等の相談	44	41	91	介護サービス	101	15	24
その他	2	6	25	その他	18	40	62	その他	30	39	122

5) 認知症施策の総合相談

認知症地域支援推進員を1名配置し、相談窓口を設置しました。

認知症地域支援チーム員会議に出席、認知症に関する講座を開催しました。

「認知症になっても在宅で暮らし続けたい」の声に寄り添い、地域づくりの取り組みとして本人ミーティング、チームオレンジ、もの忘れ健診など認知症伴走型支援に取り組みました。

第3育秀苑では認知症デイサービス・特養と協働で9月よりオレンジカフェを始め、地域住民の憩いの場として周知されつつあり認知症啓蒙活動の一躍を担っています。

【表 10】本人ミーティング・チームオレンジ活動実績（単位：人）

本人ミーティング（桜台）		
会場	回数	参加者延べ人数
しゃべりば（オレンジカフェ）	10	49
チームオレンジ活動（桜台）		
会場	回数	参加者延べ人数
てくてくの会（桜台近辺）	11	31
夢見草の会（バプテスト教会）	11	92
合計	22	123
本人ミーティング（第2育秀苑）		
会場	回数	参加者延べ人数
栄町敬老館	12	45
チームオレンジ活動（第2育秀苑）		
会場	回数	参加者延べ人数
小竹地域集会所（家族会）	12	60

本人ミーティング（第3育秀苑）		
会場	回数	参加者延べ人数
土支田地域集会所	12	72
チームオレンジ活動（第3育秀苑）		
会場	回数	参加者延べ人数
土支田地域集会所(家族会)	12	52
(土支田フロリストの会)	14	90
(げんき会)	20	50
第3育秀苑(おりがみの会)	24	168
合計	70	360

【表11】 認知症施策相談件数実績（単位：件）

相談手段別件数					
項目	訪問	来所	電話	その他	合計
桜台	8	11	69	1	89
第2育秀苑	21	10	67	0	98
第3育秀苑	37	20	194	0	251

【表12】 認知症施策相談内容 総合相談件数内訳（単位：件）

	項目	桜台	第2育秀苑	第3育秀苑
相談者	本人・家族	53	53	146
	ケアマネジャー	5	3	32
	病院	11	23	51
	介護サービス事業者	1	4	3
	その他	16	15	19
相談内容	医療に関する相談	0	2	13
	入院に関する相談	2	2	23
	認知症症状および対応に関する相談	75	42	112
	生活機能障害	5	6	35
	生活支援・介護サービス等の相談	4	16	44
	権利擁護に関する相談	1	27	11
	その他	2	3	16
相談内容の連絡先	継続支援	26	62	200
	認知症専門相談の利用	9	0	6
	認知症専門病院	11	6	11
	かかりつけ医	3	1	14
	医療機関の新規案内	6	0	2
	ケアマネジャー	5	4	2

	介護保険サービス	20	7	6
	区福祉サービス	6	1	1
	権利擁護事業	0	14	0
	その他	2	3	7

6) 地域ケア会議

①地域ケア会議

- ア) 地域ケア個別会議では、個別のケース検討を通じ、高齢者の課題解決を支援するとともに、課題解決に向けた社会資源の把握やネットワーク構築を目的に概ね月1回開催しました。
- イ) 地域ケア予防会議では、ケアマネジメントおよび専門職の資質向上を目的に、年2回練馬区で開催され、介護予防・生活支援サービスまたは訪問介護多回数のケースについて、自立支援・重度化防止およびより楽しみのある暮らしに向けて検討を行いました。
- ウ) 地域ケアセンター会議では、個別会議と予防会議を通じて抽出された地域課題について、地域の関係者で話し合いをしました。

【表 13】地域ケアセンター会議

	議題
桜台	『避難計画について学ぼう！』 『認知症の有無に関わらず、地域で暮らし続けることができる共生社会の在り方を考えよう』
第2 育秀苑	『私たちの街を知ろう』 『私たちの街づくりを考えよう』 ※令和6年度、7年度の計4回連続テーマで開催
第3 育秀苑	『生活支援コーディネーターの役割』 ～地域の社会的処方について考える～ 『地域の皆様と一緒に考える終活』 ～自分自身のために まわりの人のために～

7) 介護予防ケアマネジメント業務

①介護予防サービスの利用支援

要支援・要介護認定を受けていない区内在住の65歳以上で、区から送付された基本チェックリストにおいて介護予防事業への参加が必要と判断された方に対し、区が指定する事業（運動機能向上、栄養改善や口腔機能向上、いきがいデイサービス等）への参加支援を行いました。

②介護予防ケアマネジメント

介護予防・生活支援サービス事業では、介護予防・日常生活総合支援事業に該当する利用者および要支援1・2の認定を受けている利用者の心身の状況や置かれている環境を把握、生活課題を整理し、利用者・家族の意向を確認して、生活目標の達成に向けた支援・ケアマネジメントを行い、介護予防サービス計画を作成しました。

③指定居宅介護支援事業所への委託

④介護予防サービス計画の検証の実施

⑤東京都国民保険健康保険団体連合会への伝送

【表 14】 介護予防ケアマネジメント件数実績（単位：件）

介護予防ケアマネジメント件数					
	作成者別		サービス別		合計
	センター作成分	居宅委託分	予防給付	総合事業	
桜台	1,376	279	804	851	1,655
第2育秀苑	1,465	955	1,216	1,204	2,420
第3育秀苑	1,267	393	578	1,082	1,660

8) 生活支援体制整備

①生活支援コーディネーターの配置

令和7年度より各センター1名の生活支援コーディネーターが配置されました。初年度という事で下記のア～ケの事項の活動を練馬区と連携し、3センターで情報共有を行いながら進めてきました。

ア ニーズと取組のマッチング

イ 高齢者支え合いサポーターと地域の活動団体とのマッチング

ウ 地域のネットワークの構築、強化

エ 練馬区社会福祉協議会・地域支え合い団体との連携

オ 地域団体との連絡調整

カ 資源の把握、活用・開発

キ 協議体の設置および運営に関わることおよび、地域ケアセンター会議、地域ケア基本地区会議と一体的に開催

ク 第1層コーディネーターと連携

ケ 生活支援コーディネーター養成研修等に参加

9) ひとり暮らし高齢者等訪問支援

【表 15】ひとり暮らし高齢者等訪問支援人数実績（単位：人）

ひとり暮らし高齢者等訪問支援事業対象の人数			総数
桜台	75 歳以上	396	469
	65 歳以上 75 歳未満	73	
第 2 育秀苑	75 歳以上	293	374
	65 歳以上 75 歳未満	81	
第 3 育秀苑	75 歳以上	252	289
	65 歳以上 75 歳未満	37	

【表 16】訪問支援協力員の活動件数実績（単位：人）

		登録数	実施数	総数
桜台	訪問支援対象者	10	196	390
	協力員	10		
	センター職員対応	3	194	
第 2 育秀苑	訪問支援対象者	3	35	100
	協力員	2		
	センター職員対応	2	65	
第 3 育秀苑	訪問支援対象者	5	65	116
	協力員	5		
	センター職員対応	3	51	

10) 街かどケアカフェ

地域の高齢者の介護予防や交流、相談援助を目的とした集いの場や出張相談を開催しました。

【表 17】街かどケアカフェ実績

常設型街かどケアカフェ（桜台）		
会場	回数	参加者延べ人数
街かどケアカフェさくら	158	1,002
出張型街かどケアカフェ（桜台）		
会場	回数	参加者延べ人数
桜台地域集会所	56	686
桜台地区区民館	9	38
バプテスト教会	9	56
桜台薬局	1	5
カルーチェ	4	13
ファミリーマート桜台二丁目店	3	18
サミット氷川台駅前店	4	27
地区薬局	4	31
合計	248	1,876

出張型街かどケアカフェ（第2育秀苑）		
会場	回数	参加者延べ人数
鶴の里	22	282
小竹地域集会所	10	123
旭丘地域集会所	11	101
栄町会館	3	26
第2育秀苑	5	39
薬局	12	60
合計	63	631

出張型街かどケアカフェ（第3育秀苑）		
会場	回数	参加者延べ人数
土支田中央集会所	24	311
土支田地域集会所	11	199
第3育秀苑地域交流室	1	394
高齢者住宅こぶしの里	2	29
けやき公園	11	57
寄来処(食堂)	5	41
土支田デイサービス	1	14
デイサービスあるふぁ	1	6
薬局	12	130
合計	100	1,181

1 1) 福祉用具貸出事業

病気やけがなどにより福祉用具が一時的に必要な方、購入前に試用してみたい方を対象として、1週間程度の貸出を行いました。使用に関する相談や、用具の点検、修理も随時行いました。

【表 18】 福祉用具貸与件数実績

	福祉用具貸与事業実績				
	車いす	シルバーカー	シャワーチェアー	浴槽いす	その他
桜台	135	9	9	1	6
第2育秀苑	60	0	2	0	9
第3育秀苑	25	0	0	0	2

1 2) はつらつシニアクラブ

健康増進や介護予防に関する助言や活動勧奨を行いました。

1 3) 高齢者いきいき健康事業

申請書の設置をし、申請書の受領代行を行いました。

14) その他

練馬区から依頼を受け、認定調査・ケアプラン点検を実施しました。
練馬区が開催する会議への参加、各高齢者施策担当係と連携し事業運営の協力をしました。

3. 職員配置

【表 19】職員配置人数

	桜台	第2育秀苑	第3育秀苑
法定三職種 主任介護支援専門員・社会福祉士・ 保健師（看護師）	3名	3名	3名
生活支援コーディネーター	1名	1名	1名
介護予防ケアマネジメント担当	2名	2名	2名
訪問支援員	2名	2名	2名
常設型カフェ職員	1名	—	—
事務員	0.5名	0.5名	0.5名
合計	9.5名	8.5名	8.5名

4. 定例会議

3カ所の地域包括支援センターの知識や技術の向上と平準化を目的とし、専門職会議を開催しました。

【表 20】会議開催回数

地域包括支援センター会議	2回（5月、1月）
センター長会議（主任介護支援専門員）	12回（月1回開催）
医療職会議	4回（6月、12月、2月、3月）
社会福祉士会議	5回（5月、7月、9月、11月、2月）
訪問支援員会議	4回（6月、10月、1月、3月）
介護予防ケアマネジメント担当会議	4回（7月、10月、1月、3月）

5. 参加する研修会等

集合型、オンラインを含め、積極的に研修へ参加しました。

【表 21】研修参加状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
桜台	東京都	0	3	0	2	2	3	1	5	2	1	0	0	19
	練馬区	0	0	4	1	0	7	5	8	1	0	6	3	35
	その他	2	0	2	1	0	3	7	3	1	6	3	3	31
第2	東京都	0	3	2	1	3	1	2	3	0	0	0	0	15
	練馬区	0	0	5	4	2	2	0	2	0	2	4	2	23
	その他	1	1	0	2	2	6	1	3	2	2	2	1	23

第3	東京都	0	0	2	2	1	3	2	2	2	0	0	0	14
	練馬区	0	1	0	1	0	2	1	2	2	1	1	0	11
	その他	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	8	96

【表 22】研修参加一覧

桜台	第2 育秀苑	第3 育秀苑
セルフネグレクト～高齢者の心理～	市区町村職員等高齢者権利擁護研修「養護者による高齢者虐待対応研修」	東京都地域包括支援センター初任者研修
精神疾患の今後の課題	チームオレンジコーディネーター研修	介護保険課 介護認定調査員研修
豊島病院出張講座「感染管理」	認知症対応力向上研修	区市町村職員等高齢者権利擁護研修 テーマ別実践研修
65歳到達を契機に変化する障害者の地域生活支援について事例をもとに考える	認知症地域支援推進員初任者研修	区市町村職員等高齢者権利擁護研修 「養護者による高齢者虐待対応」基礎
高齢者虐待防止について	生活支援コーディネーター初任者研修	街かどケアカフェで取り組む転倒予防
透析看護（透析の種類や透析を導入している方の支援等）	認知症初期集中支援チーム員研修	シニアプレシニア 3 世代の社会参加促進に関するコーディネーター力向上研修
知って実践！健口体操でオーラルフレイル予防	東京都地域包括支援センター職員現任研修（管理監督者向け研修）	通いの場から行きつけの場 東京都地域包括職員情報交換会
在宅に関する医療・介護職員の ACP 勉強会：基礎編	養護者による高齢者虐待対応研修「テーマ別研修」	区市町村職員等高齢者権利擁護研修 第1回権利擁護テーマ別実践研修
在宅難病患者訪問看護師等養成研修	養護者による高齢者虐待対応研修「応用研修 A」	認知症について基礎知識を振り返る
野暮ったくないアドバンスケアプランニングを住民の方に提案しよう（全3回）	令和6年度区西北部認知症初期集中支援チーム支援研修	東京都地域包括支援センター職員研修 現任者研修（管理監督者向け研修）
退院後の生活を見据えた実現～望む暮らしを支えるために私たちができること～	養護者による高齢者虐待対応研修「応用研修 B」	地域で活動している人や団体等とつながり支援の幅を広げよう
終活セミナー（全2回）	事例検討を通じて繋がる多機関・多職種連携	主任 CM のためのファシリテーター研修
介護支援専門員の倫理（身体拘束と意思の尊重をめぐって）	身体拘束について立ち止まって考えよう	東京都地域包括支援センター職員研修 現任者研修（基本科目Ⅰ研修）
介護支援専門員のための BCP（事業継続計画）研修	知っておきたい！高齢者介護に必要な薬の知識	東京都地域包括支援センター職員研修 現任者研修（基本科目Ⅱ研修）
令和6年度介護支援専門員・主任介護支援専門員件数～これからのケアマネジャーに求められること～	職場で活かそう PEPTALK～チームメンバーのやる気を引き出す魔法の言葉	地域共生社会の実現に向けて 地域で活動している人や団体等のつながり支援の幅を広げよう
市区町村職員高齢者権利擁護研修：養護者による高齢者虐待研修	なるほどが盛りだくさん！ソーシャルワーク基礎研修	個人情報保護と特定個人情報
ボランティア担当研修	相談支援事業者全体研修会	リスクマネジメント研修①②
高齢者施設の結核対策とポイントの感染症対策	今井塾！養護者による高齢者虐待の防止と対応	感染症予防研修①②
虐待防止と身体拘束等適正化の推進	知っておきたい高齢者介護に必要な医療知識	権利擁護・個人情報保護研修
令和6年度東京都ひきこもり関係者向け専門研修	実践に活かす！意思決定支援のプロセスを理解しよう	圏域別カンファレンス・全体会
豊島病院出張講座「精神科看護」	利用者・家族との信頼関係を築く対人援助技術	順天堂練馬病院 ACP 勉強会
令和6年度市民後見人等養成事業 区民公開講座：成年後見制度の理念と概要、意思決定支援の在り方	あらためて確認しよう！地域生活を支える障害者ケアマネジメントの理解	依存症の理解とその支援について考える
認知症抗体医薬「レカネマブ」について知ろう！	相談援助の基礎を磨く！相談援助職に求められる相談面接の技法を身につけよう	慈雲堂病院事例検討会
地域猫セミナー	耳から始める認知症予防の取り組み	ハラスメント研修①②
アサーティブコミュニケーション～自尊心の姿勢で育成&チームづくりを～	障害者の高齢期に向けた「準備の支援」とは	看取り介護研修①②
街かどケアカフェで取り組む転倒予防	大人の発達障害～特性の理解と対応～	感染症対策シミュレーション研修①②
令和6年度権利擁護シンポジウム チームによる権利擁護支援を考える～権利擁護支援チームの役割と今後の方向性・課題～	地域での孤立を防ぐため、私たち専門職ができること	虐待防止・身体拘束廃止研修①②
高齢障害者の地域生活支援について～介護と障害者福祉の連携を考える～	生活に困窮する人への支援～生活サポートセンターの取り組み～	褥瘡予防研修
ヤングケアラーとして今だから言えること	第2回練馬区高次脳機能障害者支援協議会	BCP 研修
スーパービジョン専門Ⅱ	認知症という疾患、認知症ケアについて	認知症研修

BCP、ケアマネジャーとしての防災対策	在宅で生きる～訪問調剤について～	接遇研修
退院後の生活を据えた支援の実現	練馬区基本地区地域カンファレンス	
虐待防止と身体拘束等の適正化の推進	東京社会福祉士会基礎研修Ⅲ	
8050 引きこもり支援における地域包括支援センターに期待される役割について	今井塾！医療保険制度のしくみと後期高齢者医療制度	
介護支援専門員がおさえておきたい臨床倫理	なぜ今ケアラー支援なのか	
ヤングケアラーを知ろう「当事者支援から考える支援の在り方」	難病ケアマネジメント～難病の方を支える補装具・日常生活用具等について～	
通院治療の多い化学療法の最新情報と医療機関が在宅支援に求めること	自分の認知症・親の認知症上手なつきあい方を学ぼう	
誰も取りこぼさない、共生社会の現実に向けて	福祉保健関係機関合同研修会「ヤングケアラーを知ろう」	
地域カンファレンス研修・全体会報告	介護支援専門員のワーク・エンゲイジメント	
	福祉保健関係機関合同研修会「生きづらさを抱える方をどう支えるか」	
	地域カンファレンス	
	住まいを考える～シニア向け住宅の基礎知識～	
	福祉保健関係機関合同研修会「精神疾患を抱える方への多機関連携による支援」	
	BCP 研修	
	福祉保健関係機関合同研修会「困難事例に対する法的対応」	

6. 2024年度の重点課題

1 育秀会ブランドの確立

- ① 地域の福祉拠点として質の高い福祉サービスを提供できるよう地域に目を向け業務を遂行しました。
- ② 日常生活圏域の変更に伴い、それぞれの地域包括支援センターの強みを活かし、各施設のミッションを遂行しながら、地域住民が安心して住み慣れた地域で自分らしい生活を送れるよう支援しました。
- ③ 地域のセーフティネットとして地域課題に柔軟に対応し、必要に応じ地域ケア会議を開催しました。(表 13 参照)
- ④ 広報誌やホームページを活用し、地域包括支援センターの活動や地域情報を地域住民や利用者家族へ発信しました。

2 サービス向上に対する取り組み

- ① すべての人々の人権を尊重し、個人の尊厳を守る福祉サービスを提供できるよう、ひとりひとりの権利擁護に取り組み、適宜、練馬区と連携をとりました。
- ② 多様化する生活課題や福祉需要に対し、幅広く対応できるスキルを身に付けられるよう、それぞれの専門的技術の向上を図り、自立支援・重度化防止に取り組むため経験・能力に応じた研修や予防会議等の参加促進を行いました。
- ③ 生活支援コーディネーターが中心となり、社会環境や地域住民のニーズに合わせた社会資源を発掘し地域作りを行いました。
- ④ 地域包括支援センター間で職種毎に定期的に会議・評価を行い、サービスの質の向上・平準化を目的に情報共有を積極的に行いました。
- ⑤ リスクマネジメント対策の強化、感染症発生時や災害時における BCP 及び個別避難計画を策定し、法人・区との連携を図り避難拠点連絡会等に参加しました。

3 経営への取り組み

- ① 法人内の他部署との連携を強化し、サービス調整を行いました。
- ② 地域包括支援センター内での OJT を図り、各地域包括支援センターの対応力の向上を図り、次世代の人材育成に取り組みとして実習生の受け入れを積極的行いました。
- ③ 法令、社会的ルールやコンプライアンス等の法人内研修を受講しました。

4 働きやすい職場づくり

- ① ハラスメント・メンタルヘルスに対し、地域包括支援センター共同で相互に相談しやすい体制を作り、職務内容、職場環境の改善に取り組みました。
- ② 年 2 回の職員面談を行い、適宜悩みや要望を聴ける環境(体制)を作り、職員の経験や能力に合わせた育成を行いました。
- ③ 職員間のコミュニケーションを円滑にするために定期的にミーティングを開催しました。
- ④ 職員の資格習得に必要な研修への参加を促しました。

5 地域貢献への取り組み

- ① 生活支援コーディネーターを中心とした地域の高齢者の見守りネットワークに向けたコーディネート機能を果たせるよう取り組みました。
- ② センター会議等において町会、民生・児童委員、老人会、地域の介護保険事業所と連携しました。
- ③ 避難拠点連絡会等へ参加し、発災時に安心・安全な生活の確保ができるよう地域住民と協働して災害時の訓練に参加しました。
- ④ 地域の福祉人材の裾野を広げられるよう地域の小中学校との交流や福祉教育、職場体験・実習生の受入れを行いました。
- ⑤ 地域住民を対象とする講演会の開催企画や地区祭等、協力依頼に対応しました。
- ⑥ 区内の事業所等と連携し、地域ケア会議、合同研修の企画・開催を行い、職能団体等の活動等に協力しました。

2024年度 練馬区委託事業報告

高齢者世帯訪問支援業務

1. 事業運営の基本方針

65 歳以上の者のみで構成される生活保護を受給している世帯に対し、居宅を訪問し生活状況の把握、日常生活における課題に対して助言を行うなどの支援また社会とのつながりが持てるように、その世帯が地域の中で孤立せず安心して暮らしつづけられるよう支援を行いました。また、身体の衰えなどの理由により日常生活で介護などのサポートが必要となった方に対し、地域包括支援センター職員と連携し、介護保険制度の利用に繋げるなどの支援を行いました。その結果を報告します。

2. 主たる事業内容

(1) 定期訪問支援業務（4 か月に 1 回実施）

	担当地域	担当世帯数
桜台	桜台 1～6 丁目・練馬 2 丁目	251
第 2 育秀苑	栄町、旭丘 1 丁目・2 丁目、羽沢 1 丁目～3 丁目、小竹町 1 丁目・2 丁目、豊玉上 1 丁目・2 丁目・豊玉北 1 丁目・2 丁目	244

※感染予防を実施しながら個別訪問を行いました。

① 人と社会の繋がりが保てるように働きかけを行う支援

	達成人数	継続支援（手段）
桜台	3 人	3 人（定期訪問・ケアカフェへの参加）
第 2 育秀苑	1 人	11 人（定期訪問）

② 健康寿命の延伸に関する支援では、全ての方に健康診断の勧奨を行いました。

また、健康診断の結果の聞き取りや地域活動の情報提供を行うことで、健康に関心を向けるように働きかけを実施しました。健診への同行を行う事で医療機関へ繋ぐことができました。

(2) 日常生活支援業務

① 日常生活支援事業

	対象者
桜台	61 人
第 2 育秀苑	24 人

担当ケースワーカーと連携を取りながら、見守り強化や各種手続き支援等を実施しました。

③ 夏季の見守り強化の支援

	対象世帯	見守り手段	対応件数
桜台	111 件	電話	1,025 件
		訪問	207 件
第2育秀苑	108 件	電話	1,056 件
		訪問	191 件

(3) 連絡会議等への出席

福祉事務所保護係と定例連絡会に毎月出席し、担当ケースワーカーへ報告および相談をし、連携して支援する体制をとりました。また、連絡会での一口講座から日々の対応に必要なスキルを学び資質の向上を図りました。

(4) 練馬総合福祉事務所へ報告

実績報告の他、福祉事務所から依頼のある調査に協力しました。

3. 職員配置

支援対象者世帯が 150 世帯ごとに 1 名の生活支援員と現場責任者 1 名を配置しました。

(生活支援員は高齢者の居宅生活支援に関する知識を有する介護福祉士、社会福祉士、介護支援専門員等の資格を有する者)

	桜台	第2育秀苑
現場責任者	1 名	1 名
生活支援員	2 名	2 名
計	3 名	3 名

4. 重要な取り組み課題

① 育秀会ブランドの確立

- ① 地域で暮らすその人が、生活の中で感じる不安や孤独を見逃さずに、その人の声に真摯に耳を傾けることを意識して訪問支援を行いました。
- ② 自立支援の視点から、人や社会との繋がれるように支援を行いました。

② サービス向上に対する取り組み

- ① 支援対象者の人権尊重に十分に配慮し、自立した生活を送れるようにする事を意識して訪問支援を行いました。
- ② 生活保護制度の理解や相談技術が高められるよう、積極的に練馬福祉人材育成研修センターなどの研修へ参加しました。
- ③ 効率的に訪問面談が行えるよう、訪問計画を作成しました。
- ④ 支援方針の相談が適時に行える環境を整えました。
- ⑤ 適宜地区担当者と連携体制を構築し、訪問支援を行いました。

3 経営への取り組み

- ① リスクマネジメント対策の強化を図るため、感染症発生時や災害時における区の方針に則り訪問を行いました。
- ② 個人情報を持ち出す際には、鍵付きのケースに入れて持ち出すことを徹底し、個人情報の紛失などの事故はありませんでした。
- ③ 法令、社会的ルール of 法人内研修の受講、区のセキュリティ教材を用いて研修を行い、個人情報保護に関する意識を高めました。
- ④ 適宜地域包括支援センターはじめ、法人内の他部署と情報共有などの連携を行いました。

4 働きやすい職場づくり

- ① 労働環境の改善、職員処遇の向上など働き甲斐のある職場づくりに取り組みました。
- ② 常に相談を受けられる環境を構築し、ハラスメント・メンタルヘルス対策を強化しました。
- ③ 年2回の職員面談を実施し、職員の経験や能力に合わせた育成を行いました。

5 地域貢献への取り組み

- ① 地域における交流の場（老人クラブ、町内会、シルバー人材、敬老館等）の情報を提供し、地域包括支援センターとも協働しながら利用に繋げ、個人と地域のネットワークの構築を図りました。

2024年度 練馬区委託事業報告

羽沢高齢者集合住宅における生活協力員

1. 事業運営の基本方針

羽沢高齢者集合住宅の入居者 45 世帯、51 名の方に対して、月 1 回訪問にて面談を行い実態把握し、各相談に対応してきました。その結果を報告します。

2. 主たる事業内容

(1) 入居者の実態把握および練馬区への報告書作成

4 月に年 1 回の入居者基本台帳を作成しました。

月 1 回 (10 日または 20 日に)、感染予防対策を実施した上で訪問面談を行い、生活実態の把握を行いました。

(2) 居室の鍵の預かり・管理、点検業者への貸出

点検業者による緊急通報装置と火災感知器の定期点検時に鍵管理室の鍵を貸し出し、管理簿にて管理確認を行いました。また、鍵の管理方法について、練馬区と協議を行い、見直し、検討を行いました。

(3) 近隣・親族等からの通報による安否確認

今年度は、サービス事業所より安否確認など連絡はありませんでした。

(4) 必要時に応じて関係機関との連絡

介護保険サービスを利用している方については、月 1 回担当ケアマネジャーから情報収集を行い、緊急時の連携に備えました。

(5) 練馬区からの連絡文書の配布

訪問日のお知らせ、練馬区から依頼があった場合に文書の配布を行いました。

(6) 消防署による防災（避難）訓練の実施

練馬区住宅課、練馬区危機管理課、地域の協力業者、鶴の里自衛消防組織との消防訓練へ参加しました。

3. 職員配置

社会福祉士の資格を有する者 2 名、責任者 1 名を配置しました。

4. 2024年度の重点課題

① 育秀会ブランドの確立

- ① 法人の基本精神、理念を念頭におき、住民が安心して暮らすことが出来るよう、練馬区や介護保険サービス事業者、地域包括支援センターと連携できる体制づくりに取り組み、情報共有を定期的に行いました。

② サービス向上に対する取り組み

- ① 個人情報を持ち出す時には鍵付きファイルに書類を入れ、個人の権利侵害が起きないように注意しました。また、持ち出し時には、管理簿を用いて管理を適切に行いました。
- ② 鶴の里の防災訓練へ参加し、入居者の安全策や設備等の把握を行いました。
- ③ 適宜地域包括支援センター職員と連携し、サービスの利用が必要な利用者に対して支援を行いました。
- ④ 援助技術の向上が図れるよう、練馬福祉人材育成研修センターでの研修へ積極的に参加を行いました。

③ 経営への取り組み

- ① 感染症対策を適切に行い、業務を実施しました。

④ 働きやすい職場づくり

見守りを目的とする月1回の訪問面談の報告と相談をすみやかに受け、課題に対応できる体制と相談しやすい環境を作りました。

⑤ 地域貢献への取り組み

鶴の里ホールで開催される自主活動やサークルへの勧奨を行い、参加が難しい方等へは同行などを行い参加が出来るように努めました。

2024年度 練馬区委託事業報告

高齢者筋力向上トレーニング事業

1. 事業運営の基本方針

介護予防マネジメントの結果で参加が認められた高齢者 21 名に対し、生活機能を改善するプログラムを提供し、介護予防を図りました。

2. 主たる事業内容

2024 年 5 月～7 月、9 月～12 月の毎週火・金曜日に、介護予防プログラム 1 教室 23 回を実施しました。

(1) 事前アセスメント（ケース会議）

第 1 回目：2024 年 4 月 26 日 第 2 回目：2024 年 8 月 30 日

(2) 個別実施計画を利用者に説明し、同意を得ました。

(3) 以下のプログラムを実施しました。

- ①プログラムの実施前に体調のチェック（血圧・脈拍の測定等）
- ②専用マシンによる筋力トレーニング及び柔軟性、バランス能力等を向上させる包括的なトレーニング、及び歩行トレーニング
- ③利用者の状態に合わせた個別のトレーニング
- ④必要に応じて理学療法訓練を行う
- ⑤プログラムは 1.5 時間以上実施する
- ⑥自宅での運動プログラムの提供を行い、日常生活上の運動に関する相談に対応する

(4) 事後アセスメント（ケース会議）

第 1 回目：2024 年 8 月 2 日 第 2 回目：2024 年 12 月 6 日

(5) 従事者

- ①理学療法士等 1 名
- ②運動指導員 1 名
- ③看護師 1 名

(6) その他

ボランティアによる活動はありませんでした。